

縁組協定 45 周年記念
(1979.4～2026.3)

区民健康村のあゆみ



世田谷区

×



川場村

区民健康村相互協力に関する協定（縁組協定）

世田谷区は東京都の南西部に位置し、東京都二十三区中、最大の面積と人口を擁する居住都市であり、わずかに残された緑と水、先土器時代からつづく、長い歴史を大切にしながら居住環境の整備と文化の香り高いまち、いきいきとした人間関係に支えられた“福祉社会をめざすヒューマン都市せたがや”づくりを進めています。

川場村は二千メートル余の標高を誇る上州武尊山の南に位置し、陽光と緑と水、そして温泉に恵まれたのどかな田園地帯であり、四季折々の自然と多くの歴史的沿革を持った美しく豊かな村を守り、農業と観光を柱としてより豊かな住みよい活力ある“川場村ふるさとづくり”を進めています。

世田谷区と川場村は、世田谷区が“健康村づくり”を自然に恵まれた川場村の里を候補地として協議推進するにあたって、この事業がさまざまな困難を相互の理解と協力によって克服し、末永い未来を築きあげていく努力が必要であることを確認し、相互の信頼を基本としてそれぞれの地域社会の発展のために協力しあうことを誓います。

昭和五十六年十一月十六日

縁組協定

世田谷区民の「第二のふるさと」づくりを目指し、１９８１年（昭和５６年）に、東京都世田谷区と群馬県川場村で結ばれた区民健康村づくりに関する相互協力協定です。「姉妹」とは違う、互いに違う環境で育ったものが、双方が主体性を保ち、相互の理解と信頼の上にたって協力していくことを、婚姻をすることになぞらえ「縁組」としており、この都市と農山村の交流は区民と村民の信頼と友情を重ね、着実に交流の輪を育んできました。この縁組協定に基づき、これまで多くの区民や村民により、森林保全活動や文化芸術、スポーツなどの分野で様々な交流が実施されております。また、川場村や区民健康村は、縁組当初より区立小学校５年生の移動教室のフィールドにもなっており、これまで多くの子どもたちが川場村の豊かな自然に触れています。

友好の森

世田谷区と川場村の、都市と農山村の交流は区民と村民の信頼と友情を重ね、その交流は全国的にも高い評価を受けています。特に、縁組協定１０周年を記念してスタートした「友好の森事業」は、区民と村民が協働して森林を守り、育てることを基本とし、森林に学び、遊び、憩う活動を続け、その取り組みは、着実に新しい文化を築き上げてきました。友好の森は、なかのビレジ裏山に約８０ha広がっており、これまで区民と村民が協働で整備をしてきました。

健康村里山自然学校

「友好の森」を中心に、区民と村民が協働して森林を守り、育てることを基本とし、森林に学び、遊び、憩う活動や、取り組みを行いながら、区民と村民の交流を推進していくことを目的とした、区民健康村で実施されている事業です。この事業では、森林環境税の一部が使われております。取り組みをさらに発展させ、村内全域を活動のフィールドとし、区民と村民の心の交流を図り、子どもたちや若者の健全な育成に寄与するとともに、これからの里山の保全・育成を目指していきます。

川場村の概要

位 置 群馬県の北部地域の中心地、沼田市の北側約10km、尾瀬で有名な片品村から約25km。県内独立最高峰の武尊山（標高2,158m）の南麓に位置している。村内には、一級河川4本を含む多くの河川が存在することが「川場村」の名の由来と言われている。

面 積 85.25km²
（そのうち86.5%が森林）

人 口 2,897人
（令和8年3月末時点：住民記録台帳より）

キャッチコピー “田園理想郷 農業と自然の里「川場」”



村の花 しゃくなげ



村の木 ひめこまつ



川場村マスコット
キャラクター「かわたん」



世田谷区の概要

位 置 世田谷区は東京23区中の西南端にあり、おおむね東経139度39分、北緯35度38分（区役所本庁舎）に位置する。東は目黒区・渋谷区、北は杉並区・三鷹市、西は狛江市・調布市、南は大田区とそれぞれ接し、さらに多摩川をはさんで神奈川県川崎市と向かい合っている。

面 積 58.05km²
（23区で2番目に広い面積を有している。）

人 口 931,090人
（令和8年4月1日時点：住民記録台帳より）



区の鳥 オナガ



区の花 サギ草



区の木 ケヤキ



1979

昭和54年

4・11
4・22
11・7
12月

世田谷区庁議、審議会答申（3・27）の内容どおり「世田谷区基本計画」を決定（七つの重点プロジェクトの一つに区民健康村づくり計画を位置づける）。
世田谷区長選挙、大場啓二当選（再選）。
区民健康村づくり計画プロジェクトチーム発足（区内在住学識経験者と関係課長により構成、主査は鈴木忠義東京工業大学教授。事務局は企画部企画課と施設部施設計画課。略称「健康村PT」）。
三浦臨海学園について検討していた世田谷区教委の検討チーム、学童収容能力四百人規模のものを別途新設すべきであると答申。

1980

昭和55年

4・3
5・30
6月

健康村PT、一九七九年度調査研究作業成果に基づき、「区民健康村のイメージ中間報告」作成。
健康村PT、（一）健康村候補地の選定と（二）健康村における活動イメージを明確にすることを一九八〇年度における検討をテーマとする。
企画課・健康村PT、関東七都県ならびに山梨、静岡、長野、福島の各県に対し、健康村立地に適した自治体の推薦方を依頼（五十二市町村が推される）。
健康村PT、健康村における活動イメージの骨格をまとめる。
健康村PT作業班、五十二市町村につき各県からヒヤリング調査。
健康村PT、五十二市町村のうち十八町村を第一次候補地として選定。
健康村PT作業班、十八町村につき現地調査。
健康村PT、十八町村のうち十町村（九カ所）を第二次候補地として選定。

1981

昭和56年

1月
3・5
3・17
4・14
4・19

世田谷区助役、区民健康村候補地調査結果につき、区議会各会派に対し説明。各会派幹事長、2月と4月に川場村を含む四候補地視察。
世田谷区長、区議会定例会において、区民健康村につき近く適地を確定し自治体相互の縁組を実現したい旨表明。
健康村PT作業班、川場村と栃木県茂木町を対象地としてモデルスタディ結果を報告。
世田谷区企画部長、区議会企画総務常任委員会に対し川場村を最有力候補地として具体的な計画策定作業を進めたい旨説明。
川場村太郎運動広場完成（一万平方メートル）。

健康村PT、九カ所につき現地調査を含む詳細調査実施（一）。
健康村PT、候補地調査結果をとりまとめる（作成した（一）候補地選定基準と（二）評価尺度、ならびに（三）九候補地についての評価を区長に示すこととする）。

1982

昭和57年

1・7
1・15

健康村PT、区民健康村施設用地の候補地として、谷地役場周辺地区、門前宮山地区、川場湯原別所地区の三カ所を提示。
川場村スポーツ広場で「どんど焼き」復活。

4・30
5・6
5・21
5・21
5・21
5・21
6・1
6・8
6・11
6・20
6・25
6・28
7・1
7・8
7・15
7・20
8・19
9・17
9・21
9・25
10・16
11・16
12・15
12・15

健康村PT、区民健康村づくりの基本構想案をとりまとめる。同時に区民に対するPRの強化を提案。
世田谷区長、川場村を訪問し、区民健康村の立地に伴う相互協力体制につき村長をはじめ村首脳と意見交換（群馬県関係者も同席）。
世田谷区長、川場村を第一候補地とし、区民健康村づくりへの協力方を川場村長に要望。
健康村PT、区立小・中学校校外施設運営委員会との意見交換開始。
世田谷区企画課、『せたがやくみん健康村通信第一号』発行、区民健康村づくりについての提案を区民に呼びかける（発行二万部）。
健康村PT、区民健康村計画の基本構想案を「区民健康村計画中間まとめ」として発表。
世田谷区長、区議会定例会において、川場村を区民健康村の第一候補地として選定した旨表明。
川場村議会、世田谷区民健康村の誘致に関する議決。
川場村中学校生徒、校庭周辺にドウダンツツジなど八二〇本植樹。
『健康村通信第二号』、区民健康村の最有力候補地として川場村を紹介。
東京新聞、区民健康村づくり事業の構想について紹介。以後八月上旬にかけて各紙紹介。
川場村役場に企画財政課新設（区民健康村事業についての川場村側窓口）。84・1・1企画課となる）。
川場村、農林業と観光とを両立させつつ総合開発を図るための「行政・経済懇談会」発足。
この日発行の世田谷区広報から「区民健康村づくり」欄掲載。
川場村、テニスコート、サイクリング道路各完成。
世田谷区議会全員協議会、川場村視察（8・20）。
この日開会の世田谷区議会定例会代表・一般質問において、区民健康村事業に対する批判あいつぐ。
世田谷区教委、移動教室検討委員会設置（区教委・学校・教職員組合各代表により、川場村における移動教室のプログラム等を検討する）。
世田谷区議会、区民健康村等建設特別委員会設置（87年4月まで存続。略称「健康村特別委」）。
健康村特別委、川場村を最有力候補地と決定。
世田谷区と川場村の間で区民健康村相互協力協定締結。
世田谷区と川場村の間で健康村相互協力に関する覚書交換。
世田谷区長、上越新幹線特急あさひ号の上毛高駅停車を国鉄に要望。
世田谷ボロ市に川場村物産コーナー設置販売。この年、川場村内県道横塚富士山線道路改良工事完成。

2・4	川場村、「世田谷区民健康村に関する推進協議会」、「世田谷区民健康村づくり土地取得委員会」各設置。2・5から候補地区地権者に対する説明会に入る（折衝難航）。
2・20	健康村PT、区民健康村施設設計者の選定方法について、実績のある複数候補者の中から企画案審査を経て審査するよう提案。後に世田谷区、同提案を踏まえ坂倉建築研究所、林・山田・中原設計同人、あい造園設計事務所の三者を指名。
2・22	川場村東京村人会世田谷区在住者による「ふるさとを語る会」開催（座談内容は『健康村通信第六号』に収録紹介）。
3・16	東京都世田谷区区民健康村建設基金設置条例公布施行。
3・25	『健康村通信第六号』、川場村における交流事業への参加者をはじめて募集（レンタアップル、イチゴ摘みとジャムづくり、山菜狩り、ふるさとパック、森のキャンプ）。
3・25	世田谷区長、区民健康村施設用地につき、村の責任において確保し提案・推薦するよう川場村長に要請。
4・1	世田谷区企画部に区民健康村開設準備室設置。
4・13	健康村PT、区民健康村基本計画素案を区長に報告。83年5月、同報告書印刷配布。
5・2	レンタアップル会員（リングの木のオーナー）、川場村に入村民泊して摘花ツアー実施（5・3）。秋には収穫ツアー実施。
5・19	川場村でミス世田谷ら区民と村民による交歓田植え。
5・20	世田谷区長、東北・上越新幹線開業にあわせた通勤新線の渋谷以南への延長と、環状線交通機関の新設についての検討を国鉄に要望。
5・25	世田谷区教委、健康村特別委において「川場村移動教室素案」につき説明。
5・29	イチゴ摘みとジャムづくりツアー実施（5・30）。
6・3	世田谷区青少年委員会と川場村青年団との第一回懇談。10・14第二回懇談。
6・12	世田谷区婦人団体連絡協議会・生活学校連絡協議会各代表、川場村を訪れ川場村婦人会と懇談。12・15、16世田谷区で交流会。
6・22	山菜狩りツアー実施（6・13）。
6月	世田谷区、宮山地区・別所地区に関し、大規模土地開発事業計画協議書を群馬県に提出。
7・7	川場村、国土庁の農村総合整備計画作成市町村に指定（十カ年計画、予算総額十五億円）。
7・15	世田谷区・川場村、健康村事業の推進に伴う共同事務に関する覚書交換（交流事業実施、施設開設準備等に伴う経費を折半して負担。85年度まで継続）。この月、村役場に世田谷区の現地事務所開設。
7・30	川場村商工会、区民健康村事業への参画を要望。
7・31	川場村、第一回ふるさと村民まつり開催（世田谷区長、ミス世田谷、世田谷区職員器楽部等も参加）。
8・1	「サマーセタがやふるさと区民まつり」に区民健康村コーナー設置（8・1）。これを機に世田谷区における各種イベントでの川場村物産直

8・1	販売活動始まる。
8・2	川場村で全国高等学校アーチェリー選手権大会開催。
8・3	台風十号により川場村の農作物被害（総額三億円余）。
8・6	世田谷区教委・池之上青少年センター、川場村で「森のキャンプ」実施（8・6）。プログラムの一部に川場村の子どもたちも参加）。
8・10	川場小学校六年生児童、世田谷区三浦臨海学園で臨海学校実施（8・8）。
8・10	川場村教委、『写真集川場村の文化財第一集』発刊。
8・24	区立世田谷小学校、川場村で移動教室予備活動実施（8・26。川場村での初の移動教室）。
8・26	世田谷区児童課、小学校児童による「川場村キャンプ」実施（8・28）。
9・1	川場村長、従前の候補地区に加え、五地区についての調査を世田谷区長に要請（谷地富士山地区、中野太田川地区、門前大倉地区、生品後山地区、谷地上界戸地区）。
9・10	世田谷区長、区民健康村の適地として中野太田川地区・谷地富士山地区と決定した旨川場村長に回答。
9・14	中野・富士山両地区地権者代表、健康村の誘致を承諾する旨、川場村長に回答。
9・25	川場村長、「健康村地区指定にともなう用地確保について」世田谷区長に通知（取得契約目標を十二月二十五日とし地権者との折衝に入りたい旨）。
10・4	世田谷区、区民健康村開設準備委員会の設置決定（健康村PTを拡充改組、行政側の責任執行体制を明確にする。委員長を助役とし、委員会に小委員会、施設建設部会、企画運営部会各設置。略称「健康村開設準備委」）。
10・15	区民健康村開設準備室、富士山地区地権者との用地取得折衝開始。
10・30	10・16中野地区地権者と開始。
10月	温泉調査機関の東京技営協、富士山地区開発予定地における温泉湧出の可能性はきわめて高いと報告。
11・10	川場村、「村の花」にシャクナゲ、「村の木」に姫小松（五葉松）指定。
11・15	世田谷区、開発地域を富士山地区・中野地区に変更、あらためて大規模土地開発事業計画協議書を群馬県に提出。83・3・7群馬県承認。
11・23	上越新幹線（大宮・新潟間）運行開始（川場村への最寄駅は上毛高原）。
12・15	世田谷区下馬生活協同組合役員、川場村農協、農業従事者と農産物取扱いの可能性につき懇談（11・24）。
12・15	この日発行の世田谷区広報「区民健康村づくり」欄で川場村農家での体験宿泊募集。



1983

昭和58年

1 区民健康村施設用地の現況測量開始。
2 第二十八回群馬県青年祭芸能文化の部で川場村連合青年団による演劇「かあさんのうた」最優秀受賞。
3 健康村開設準備委第一回委員会。
4 世田谷区教委、新入生への入学祝として川場小学校にアズノの木贈呈。
4 群馬県議会議員選挙、川場村長を辞任立候補した永井鶴二氏当選。
4 世田谷区長選挙、大場啓二氏当選（三選）。
4 川場村長に小林丘一就任（無投票当選）。
5 健康村開設準備委施設建設部会、施設の設計構想についての検討に着手（設計者も委員として参加）。
5 世田谷区長、川場村における植樹祭に参加。
6 世田谷区砧地区老人会約三百人、老人組織として初めて川場村訪問。
6 区民健康村事業推進会議設置（世田谷区と川場村が、区民健康村施設整備、交流事業の推進、川場村の環境保全等に関し協議・調整する機関。議長は世田谷区助役）。
6 世田谷区立花見堂小学校、川場村で移動教室試行（6・29）。この年三校が試行。
7 川場村、総合計画の策定に着手。
7 世田谷区、区民健康村用地の地質調査開始。
7 世田谷区弦巻児童館、川場村でのキャンプ実施（7・23）。この夏、等々力児童館、池之上青少年センターなども実施。
7 世田谷区立希望ヶ丘中学校クラブ合宿実施（7・31）。この夏、区立中学校四校がクラブ合宿実施。
7 川場村天神地区、群馬県むらづくり表彰事業県知事賞受賞。
8 世田谷区の桜丘地区子供会、川場村で「森のキャンプ」実施（8・23）。後に「青少年問題を考える会」として実施。
8 世田谷区、農作業体験を含む川場村での区職員管理職研修開始。
8 川場村中野地区りんご研究会、下馬生活協同組合と農産物取扱いの可能性について意見交換。
8 健康村開設準備委施設建設部会、中野地区・富士山地区各施設設計構想計画をとりまとめる。9・8世田谷区長に報告。
10 川場村を会場として第三十八回国民体育大会（あかぎ国体）の山岳競技、アーチェリー競技行われる（10・20）。

1984

昭和59年

1 世田谷区、富士山桜川温泉試掘のための許可申請。3・23群馬県環境衛生部許可。
2 川場村、雪害対策本部設置（この冬記録的な豪雪に見舞われ、施設農作物を中心に大被害）。
2 世田谷区、富士山地区・中野地区につき大規模開発事業承認を群馬県に申請。4・12群馬県承認。
3 川場スキー場計画に大都開発㈱の参入決定。

1985

昭和60年

3 世田谷区立千歳台小学校と川場小学校との姉妹校交流成立。
3 世田谷区議会、区民健康村用地取得議案議決（第一次買収）。最終的な用地面積は買収六万三二五九平方メートル、賃借一九万六〇四平方メートルで総計二五万九三六三平方メートル。
4 世田谷区と姉妹都市のカナダ・ウイニペグ市の中学生、初めて川場村訪問（4・5）。
4 川場村の永井酒造、「世田谷」ブランドの清酒を世田谷区内に出荷開始。
5 世田谷区議会議員互助会野球部、川場村ではじめて合宿（5・24）。
5 世田谷区園芸商組合、川場村視察。
5 川場村教委主催の第一回文化講演会、利根沼田文化会館（沼田市）で開催（講師は江間章子、大林清ら世田谷区在住の作家、詩人、歌人五人。以後この種の催しは行われず）。
6 区民健康村開設準備室、区民の自主企画による健康村づくり活動の募集開始（採用グループにはバス代補助）。
6 群馬県衛生公害研究所、桜川温泉の分析結果について世田谷区に通知（湧出能力毎分三百リットル、泉温二十七・九度、泉質アルカリ性単純泉）。
7 川場村長、区民健康村事業に伴う村内商工業者への優先発注方を要望。
7 川場村中野地区、「魔除けぞうり」を復活させる。
7 世田谷区職員互助会、「川場を知る集い」実施（7・30）。
8 川場村土地開発公社設立。
8 世田谷区の青少年問題を考える会、夏休みを利用して川場村の子どもの短期ホームステイ実施（8・6）。
8 世田谷区の鍊金館関根道場、川場村で剣道合宿と交歓試合。
8 川場村中野地区生活改善グループ、世田谷区から指導者を招きルバーブジャムづくり講習会開催（後に商品化）。
9 世田谷区ブレイリーリーダー連絡会、「川場村を知る集いワークショップ」実施（9・24）。農作業の手伝いや茅場づくりなど）。
9 区民健康村施設建設工事起工式。
9 世田谷区酒販売組合、川場村視察。
9 世田谷区と川場村、区民健康村開設に伴う法人設立に関する協定締結（健康村の管理・運営、川場村観光施設等の運営について共同で調査研究する）。
11 日清協主催の第三十三回全国青年祭演劇部門に川場村連合青年団、群馬県代表として出演。

1985

昭和60年

2 （財）農政調査委員会主催「第一回都市と農村の交流」シンポジウムに、世田谷区長、区民健康村開設準備室長、川場村企画課長ら出席、区民健康村づくり事例紹介。
2 区民健康村事業推進会議、健康村に対する村内物資供給組織の構想について協議。
2 山村留学制度（世田谷区の小中学生が毎年二、三名川場村にホームステイ）。

1987

昭和62年

1月	川場村中野農産物加工工場、稼動開始（ジュース、ジャムなどの果実類の加工が中心）。
1月	川場村、萩室に農産物加工施設・直売施設整備（味噌醸造、漬物類の加工が中心。運営管理は農協）。3月稼動開始。
2・4	川場村中学校立志式で世田谷区在住の漫画家富永一朗、「マンガ教室」。
3・3・20	川場村長、桜川温泉の分湯について世田谷区長に要請。
3・3・21	区民健康村、ふじやまビレッジを本拠として和紙造形大学（本科コース）開講（二泊三日で年間六回受講する）。
3・31	健康村ふじやまビレッジ敷地内に茅葺き農家を移築した管理棟、テニスコート、スキーグレンデなど各完成。
4・3・31	川場村歴史民俗資料館開館式（川場小学校旧校舎を利用）。
4・4・26	世田谷区と世田谷区民健康村を結ぶ週末運行のシャトルバス第一便出発。
4・4・26	健康村日帰りバスツアー事業開始。
4・4・26	世田谷区長選挙、大場啓二当選（四選）。
4・4・26	川場村長選挙、横坂太一当選。
4・4・26	この回の選挙から川場村議会議員の定数十二となる（四議席減）。
4・4・26	健康村きのこの里事業開始（シイタケ、ナメコの櫛木のオーナーとなつて自分で種菌を植えつける）。
5・30	健康村フォトクラブ事業開始（四季に川場村を訪れて川場村の風景を撮影する）。
5・30	あるきんぐクラブ主宰の竹内成光（池尻二丁目在住）、川場村中野小田川地区に農家の廃屋を借りて「山の家」開設。89年4月家族とともに移住。
6・1	世田谷区、区民健康村のシンボルマークと愛称募集（シンボルマークは千歳台三丁目・西静子の作品が当選。愛称は該当作なし）。
6・19	和紙造形大学（短期コース）開講。
7・7	桜川上流域の開発現地説明会開催（スキー場開発の内容とこれに伴う民宿のあり方について説明）。
7・7・18	健康村武尊山登山事業開始。
7・7・18	あるきんぐクラブの小中学生四人、世田谷・川場間の歩行に挑戦出発（7・30川場村到着。88年は十人が柏崎・川場村を歩行）。
8・5	日本ボイスアウト東京連盟世田谷地区、結成二十五周年記念キャンプ大会を川場村で実施（8・10）。
8・17	健康村夏の学校事業開始（世田谷区と川場村の子どもによる四泊五日の合宿生活体験。89年から「森の学校」と改称）。
9・8	川場村幼小中PTA連絡協議会、村中央部通学路に「あいさつ通り」設定。
11・10	川場村富士山・上界戸両地区代表、世田谷区と川場村に桜川温泉からの引湯計画案提出。
11・14	世田谷区、ふじやまビレッジ村の会堂で「第一回森の美術展」開催（11・30。区立世田谷美術館収蔵作品を五十点前後展示）。

1988

昭和63年

22 ・ 26	11 ・ 28	11 ・ 10	9 ・ 27	8 月	7 ・ 16	7 ・ 1	7 ・ 8	5 月	5 ・ 23	4 ・ 29	4 ・ 14	4 ・ 1	2 ・ 13
川場村郷土芸能祭開催（この年より秋の文化祭から分離して開催）。 財団法人川場村観光開発公社設立（村営観光施設、レクリエーション施設の運営にあたる）。 川場村かたるべの家、つくるべの家、太陽の家完成式（観光と村民交流とを兼ねた施設。国土庁リフレッシュふるさと推進モデル事業適用）。 世田谷区、ふじやまビレッジ村の会堂で「第一回森の書展」開催（5・8）。世田谷区在住書家の作品を展示。 川場スキー場起工式（12月開業予定）。 健康村みそ・そばの会事業開始（大豆・そばの年間農作業と手づくり食品加工作業をセットで行う）。 区民健康村室、『健康村新聞』創刊（季刊）。 川場村内の県道平川沼田線背嶺トンネル貫通。この年、同道路全線開通。 和紙造形大学、ふじやまビレッジ村の会堂で「第一回和紙造形日本メキシコ国際展」開催（7・26。高円宮殿下来臨）。 川場村、農業についての村民意識調査実施（全戸調査。観光農業を付加した農業経営を志向）。 武尊レクリエーション（株）取締役会、川場スキー場の完成は一年延期と決定（記録的な長雨で工事遅延）。 川場谷沢砂防ダム竣工。 世田谷区、桜川温泉の能力試験調査（12・26）。適正能力は自噴方式で毎分五十㍓、揚湯方式で毎分一八〇㍓と判明。 「ぐんまりフレッシュ高原リゾート構想」、国土庁など国の承認を受ける（川場村は三三〇〇㍓が重点整備地区に指定）。													

1989

昭和64年／平成元年

3・22	川場村、山村と都市の交流表彰で全国山村振興連盟会長賞受賞。
4・1	川場村役場、産業課廃止、農政課・建設課各設置。
4・28	馬事公苑前けやき広場で開催された第五回世田谷緑化まつりで川場村の地鶏卵の直販と特別栽培米（有機低農薬栽培）の宣伝行う（特別栽培米は世田谷区民から予約募集）。
5・10	川場村、地域住宅計画（HOPE計画）の策定に着手。
5・16	川場村、第八回日本旅のペンクラブ賞受賞。
5・26	世田谷区酒販組合青年部、川場産加工食品の店頭販売開始。
6・10	世田谷区区民健康村事業検討委員会発足（世田谷区民・川場村代表も加えて充実展開策を練る。委員長鈴木忠義東京農業大学教授）。
7・27	日韓地域文化交流事業の一環として、韓国青年仮面劇の一行川場村を訪問。7・29公演。
7・2	地域活力の掘り起こしをテーマに開かれた第三回自治体学会シンポジウムで区民健康村事例報告。
9・16	世田谷区在住切り絵作家の後藤伸行、富士山地区に「創作の里」事業を計画し地鎮祭。
9・21	富士山地区に登り窯を備えた陶房「壺中天」落成式。

1990

平成2年

12月 12月 11月 11月 11月 11月 10月 10月
20 23 22 5 3 2 4 1

川場村、村制百周年記念誌『時は流れて遙かなる心をしのぶ』発行。
第二回和紙造形日本メキシコ国際展、メキシコ合衆国プエブラ文化会館で開催（10・13）。世田谷区長、和紙造形関係区民、川場村長、村議ら多数参加）。
川場村制百周年記念式典。江間章子作詞・中田喜直作曲（いずれも世田谷区在住）の川場村歌披露。
川場村文化会館落成式。第四回ふれあいコンサートは同会館ホールで開催。
川場村文化会館の前庭に世田谷区と川場村の小学生の共同制作による記念モニュメント完成、除幕式。
世田谷区民絵画展の入選作、川場村文化会館に展示（11・23）。
川場村の特別栽培米、世田谷区に向けて初出荷。
川場スキー場落成式。12・22オープン。
この月に開業した川場村民宿六軒。

1991

平成3年

6月 4月 4月 4月 3月 3月 3月
13 21 21 1 26 17 15

川場村、「朝日農業賞」を朝日新聞社・群馬県知事より受賞。
区立次大夫堀公園の企画展「卯から繭まで」にて養蚕道具を川場村生品木村菊彦氏より提供。
世田谷区民健康村第二期の運営と整備に係る指針まとまる。
（仮称）「迦葉・富士山県立森林公園」の森林整備着手。
世田谷区長選挙、大場啓二当選（五選）。
川場村長選挙、横坂太一当選（二選）。
世田谷区民健康村事業推進会議において、仮称「友好の森」事業計画の

1992

平成4年

12月 12月 8月 8月 8月 8月 7月 4月 4月 4月 2月 2月 1月 1月
15 3 27 21 1 1 20 30 1 1 15 11 30 12

ふるさと公社OAフロントシステム本稼働。
世田谷区・川場村縁組協定十周年記念事業「友好の森」建設協定調印。
健康村春駒まつり見学ツアーを初開催。
世田谷区廻沢囃子保存会が川場村芸能祭に初参加。
川場村役場に、商工観光課新設。
川場村美しいむらづくり条例施行。
ふじやまビレジに生ごみリサイクル設置、施設から出る生ごみの処理開始。
第五回和紙造形日本メキシコ国際展、ふじやまビレジ村の会堂で開催（10・26）。
川場村武道館新築。
川場村議会議員、川場村民、世田谷区民まつりを見学。
元氣のふる村づくり事業「大つち地」を開催（8・23）。語りべの宵、コンサート、ラブリバー）。
薄根川の一部区間が、ラブリバー制度適用河川として建設省より認定を受ける。
健康村施設に空き缶つぶし機導入。
川場村の公共下水道事業が、建設省、国土庁より過疎代行事業として認定、着手。

骨子を了承。
世田谷区と川場村の間で桜川温泉分湯に関する協定締結。
後藤伸行氏の切り絵美術館落成。
世田谷区・川場村縁組協定十周年記念事業「川からのメッセージ」開催（10・24）。語りべの宵、シンポジウム、コンサート、ラブリバー）。
川場村長、仮称「友好の森」事業の整備促進についての要望を世田谷区長へ提出。
第四回和紙造形日本メキシコ国際展、メキシコ合衆国プエブラ文化会館で開催（10・12）。
川場村、「過疎地域の活性化優良事例」国土庁長官賞受賞。
区民健康村第二期の運営と整備に係る指針に基づき、ふじやまビレジの改修工事に着手。92・4・30終了。
第四回和紙造形日本メキシコ国際展（国内展）を世田谷美術館区民ギャラリーにて開催。メキシコ合衆国プエブラ文化会館での出品作品を展示。
農業用ビニール処理施設が谷地地内に完成し、処理業務を開始。



1993

平成5年

元気のでる村づくり、92「一握りの土から」シンポジウム開催。
「友好の森」基本計画まとまる。
川場村、友好の森整備基金条例施行。
川場村てんぐ山公園オープン。世田谷区制60周年を記念し、桜の苗木が川場村へ贈呈される。同公園へ記念植樹。川場小学校、玉川スポーツ少年団の落成記念サッカー交流試合開催。
榎田園ブラザ川場設立。
沼田駅～川場村循環バス路線が廃止され、路線代替バス事業として村営バスの運行開始（上界戸～ふじやまビレッジ間が新設される）。
川場村てんぐ山公園の世田谷区民による使用に関する協定締結。
友好の森事業検討委員会設置。
元気のでる村づくり、93「森と風からのメッセージ」を開催（7・24。語りべの宵、シンポジウム、コンサート、ラブリバー）。
友好の森事業、森林ボランティアワークショップ開催。これまでの森林ボランティア（東京農業大学生主体）に一般区民が参加（7・25）。
千歳台小学校・川場小学校交流十周年記念交流会、なかのビレッジで開催（7・26）。
川場村、「保健事業推進功労表彰」厚生大臣賞受賞。
第六回和紙造形日本メキシコ国際展、メキシコ合衆国プエブラ市のフンダシオ・メヒカーナにて開催。
区民健康村第二期の運営と整備に係る指針に基づき、なかのビレッジの第一期改修工事に着手（94・4・30）。
川場村、天候の異常（冷害）による戦後最大の農作物被害を被る（被害面積二二九畝、被害総額四億四五〇〇万円）。

1994

平成6年

川場村幼稚園舎新築。
田園ブラザミルクプラント完成。
川場湯原木賊地内に金山浄水場新設。
川場駐在所が川場型モデル住宅に改築。
村営バス停留所の情報ポケットハウス内にワークショップによるモニユメント設置。
元気のでる村づくり実行委員会により、川場小学校へ空き缶回収コーナーを設置。
第六回和紙造形日本メキシコ国際展（国内展）を世田谷美術館区民ギャラリーにて開催。
川場村有志から世田谷区内の保育園に米をプレゼント。
世田谷区大蔵リサイクル施設へ健康村より空き瓶搬入開始（以後、平成九年度末まで実施）。
せたがや区民まつりに上州武尊太鼓連初参加。
健康村創作活動教室スタート（8・21。石彫教室開催）。

1995

平成7年

川場村から世田谷区総合防災訓練へ援助物資を搬送。
健康村で芦沢一洋氏のフライフィッシングスクールがスタート。
平成十年の全国植樹祭を迦葉・富士山県立森林公園にて開催を予定（小寺県知事九月定例議会会で表明）。
台風26号により川場村のりんご園打撃を受ける（被害面積八・八畝、被害総額一二〇〇万円）。
なかのビレッジ第二期改修工事着手（95・4・30）。
元気のでる村づくり事業として川場村オリジナルカレンダー制作。
川場湯原武尊神社、茅葺き屋根から銅板葺き屋根に葺き替え。
ラブリバー川場として、千歳台小学校・川場小学校児童により薄根川へ稚魚放流（ヤマメ五〇〇匹）。
世田谷美術館区民ギャラリーにて、世田谷和紙造形作品展開催（3・19）。
川場村村営住宅（四戸）完成。
世田谷区、友好の森事業用地として中野地区ヒロイド原の賃借開始。
友好の森事業「きのこの森づくり」スタート。
世田谷区長選挙、大場啓二当選（六選）。
川場村長選挙、横坂太一無投票当選（三選）。
友好の森事業「やま（森林）づくり塾」スタート。
川場村田園ブラザに「ファーマーズマーケット」、「ミート工房かわば」オープン。
川場村体験学習館新築落成。
川場フェアが横浜高島屋玉川店にて開催（8・1）。
災害時における相互援助協定締結（阪神・淡路大震災（1・17）を教訓として）。
世田谷区、川場まつり防災コーナーを運営、起震車を出席。
「森の学校」を「自然教室」と改称し実施（ジュニア3泊4日8・4。シニア5泊6日8・8・6）。
世田谷区防災訓練に川場村支援物資搬送（川場村村議会議員視察）。
平成10年全国植樹祭会場として迦葉・富士山県立森林公園に決定。
ふじやまビレッジ温泉ポンプアップ工事完了。

1996

平成8年

川場村生きがい対策事業として伝統工芸体験（座敷ぼうき、竹細工、わら細工）開始。
群馬県議会議員（元川場村長）永井鶴二氏ご逝去（60才）。村葬を実施。
川場村ブルーベリー組合より区内3保育園へ苗木配布。
（株）世田谷川場ふるさと公社、創立10周年記念式典を開催。
防災協定に関する第一回連絡会議を区役所で開催。以降、年一回開催。

1997

平成9年

11・17 11・1 9・21 9・20 8・27 6・22 5・18 4・26

建設省より道の駅「川場田園プラザ」として指定。ふれあい橋完成（L122.6m、W112mでホテルSLより田園プラザを結ぶ歩行者専用吊り橋）。道の駅「川場田園プラザ」開所式挙行。森のキッチン（友好の森野外炊事場）3棟整備工事竣工。群馬県主催の山村都市交流シンポジウムが区立砧区民会館で開催。川場村森林組合版「第一回森林ボランティア」開催（9・22）。やま（森林）づくり塾養成教室修了者向けに実施）。第二十回世田谷菊花展に川場村コーナーが設けられ出品、展示。群馬県ボランティア連絡協議会及び環境ボランティア研究集会実行委員会主催の環境ボランティア研究集会を川場村文化会館にて開催。

1・28 1・31 2・12 2・19 2・21 3・7 3・12 4・1 4・5 4・13 7・18 10・1 10・4 10・28 11・22

世田谷区「土と農の交流園」において川場村こんにやく婦人部の講師によるこんにやくづくり講習会開催。友好の森「森のむら」配置及び設置計画等作成調査。川場村森林組合が、利根沼田中部森林組合（川場村、沼田市、白沢村が合併）として発足。やま（森林）づくり塾シンボルマークを公募。最優秀賞は鈴木多美子さんの作品に決定。友好の森事業合同検討委員会において、森のむら内への川場村事業主体による（仮称）友好の森エコミュージアムの建設計画策定。川場村桜川の環境整備を考える会（代表 谷地区長）の河川空間（桜川）の整備計画が第一回「農村環境整備」デザインコンペにおいて佳作受賞。川場村過疎地域活性化計画に（仮称）友好の森エコミュージアムの建設計画を位置づけ。世田谷区、機構改革により区民健康村室から政策経営室政策企画課及び制度改革・政策担当部政策・区民健康村担当課長に改組。世田谷区文化生活情報センターがオープン。川場村・健康村紹介パネル設置。萩室地区の獅子舞30年ぶりに復活。全国植樹祭川場村推進協議会設立総会開催。やま（森林）づくり塾養成教室修了者による自主活動団体「やまづくりくらぶ」が発足（会員数26名）。友好の森「どんぐり森湧金庫（しんようきんこ）」開設（11・30）。2カ月で約四十九万個の預金高）。川場田園プラザ、そば処「虚空蔵」オープン。川場村黒岩地区共同桑園跡地に「千年の森」整備開始。「やまづくりくらぶ」主催による講演会を文化生活情報センターセミナールームで開催。講師は東京農業大学宮林茂幸氏。三軒茶屋キャロットタワーにおいてキャロットまつり（一周年記念）開催（11・24）。群馬県きのこ団体と協同で川場村物産展開催。

1998

平成10年

12・9 11・28

川場村、公共下水道「東部終末処理場」供用開始。友好の森「森の学校」が緑とのふれあいの里整備事業として着手。

1・13 1・28 3・16 3・10 3・26 3・30 3・31 4・1 4・31 4・1 4・21 4・22 4・27 4・29 5・10 5・29 7・11 7・29 8・1 8・16 9・1 10・16 11・7 11・20

東京都林務部林務課が森のむら現場視察。アジア演出家協会研修会が川場村において実施（1・30）。演出家と元気のふる村づくり実行委員会との交流会を併せて開催。川場村、国土利用計画策定。和紙造形大学10周年記念式典開催。同記念展覧会を世田谷美術館区民ギャラリーで開催（3・29）。閑越自動車道「昭和インター」開通。村道生品下り線開通。川場田園プラザ「ビール工房」完成。友好の森「森の学校」新築工事竣工。世田谷区、機構改革により制度改革・政策担当部政策・区民健康村担当課長から政策経営室政策・区民健康村担当課長に改組。川場村歴史民俗資料館が国の登録文化財に選定。友好の森「森のむら」新築工事着手。川場田園プラザ竣工式挙行。川場村村民植樹祭が「千年の森」で開催。やまづくりくらぶ参加。第49回全国植樹祭開催（県立自然公園21世紀の森）。ふじやまビレッジで天皇皇后両陛下主催のご昼食会開催。なかのビレッジにおいて版画教室開催（7・12）。世田谷区民健康村、利用者8万人達成。川場村から世田谷区総合防災訓練へ援助物資を搬送。森の学校気象環境調査部会、前橋工科大学土屋教授、田代川へ圧力水位センサー設置。なかのビレッジにおいて版画教室開催（11・8）。友好の森「森のむら」新築工事竣工。

1999

平成11年

3・14 4・1 4・1 4・25 4・25 5・20 6・5

世田谷区郷土芸能大会（砧区民会館において開催）へ萩室獅子舞参加。森の学校指導員（講師）登録制度スタート。中野地区ハープ研究会「ヒレイドガルデン」によるヒロイド原ハープガーデンづくり開始。世田谷区手をつなぐ親の会「ショップぴあ喜多見」オープン。川場物産品を販売（区内常設店として3店目）。世田谷区長選挙、大場啓二当選（七選）。川場村長選挙、横坂太一無投票当選（四選）。友好の森「森のむら」、「森の学校」供用開始。友好の森「炭焼き窯」完成。友好の森「森のむら」、「森の学校」開設式典挙行。

2001

平成13年

1・1・1・1
31・26・5・1

新世紀記念イベント（花火打ち上げ）を実施。
横坂村長、永井元村長の肖像画を作成、世田谷区役所へ掲示。
縁組協定20周年記念誌編集委員会を設置。
桜川河川整備計画「水辺の楽校プロジェクト」が国土交通省で事業登録。

2000

平成12年

12・11・11・10・10・9・8・7・7
7・20・5・27・20・11・1・2・1

㈱世田谷川場ふるさと公社、生ごみ堆肥を商品化。「ひこばえ」として販売開始。
友好の森「森のむら」、森の学校」開設記念企画展「芦澤一洋の世界」開催（9・30。延べ915人入館）。
世田谷フィルハーモニー管弦楽団第一回サマーコンサートを川場村で開催。
森の美術展、「向井潤吉」特別展開催（9・19）。
国際森林会議（林野庁・群馬県主催）が開催され、ケーススタディ会場として「友好の森」を調査（10・21）。
「桜川ふれあい水辺づくり推進協議会」発足。
門前春駒保存会、文化財保護で文部大臣表彰受賞。
やま（森林）づくり塾、専科教室開始。「研ぎの技術についての研修」を開催（11・21）。
世田谷区長より川場村横坂村長に健康村事業の推進に対する感謝状贈呈。

12・11・9・8・7・7・7・4・4・1
7・18・16・30・20・19・18・25・1・28

世田谷区民健康村第三期事業計画策定のための「区民健康村事業検討委員会」発足、開催。以後、01年2月17日まで全5回実施。
世田谷区、政策経営室政策・区民健康村担当課長から生活文化部区民健康村・ふるさと交流課区民健康村担当に改組。
特別区制度改革記念式典（三軒茶屋キャロットタワー内パブリックシアター）において、上州武尊太鼓を披露。
川場スキー場、民事再生法による再生計画案認可。
上下流連携による森林づくり会議に、区民健康村・ふるさと交流課長、川場村企画課長ら出席。
森の学校企画展、野の花散歩「風と水かつなぐ川場と世田谷」植物画展開催（11・30）。
川場スキー場、斑尾高原開発の資本参加により第三セクターの社名を「川場リゾート」に社名変更。
森づくりフォーラムにおいて、世田谷区と川場村の交流事業を紹介（東京代々木オリンピックセンター）。
川場小学校金管バンド「川場キッズ」全国大会出場。
やま（森林）づくり塾養成教室で中野地区共有林地権者と共同作業実施。

2002

平成14年

12・10・10・10・9・9・7・7・4・4・3・1
6・26・19・5・14・1・20・4・1・16・4

川場村新年祝賀式において、新世紀記念イベント（21夢プラン部会）中間報告発表（川場村と世田谷区の合併案報告）。
川場村民教養講座で、縁組協定20周年を記念して世田谷区在住の牟田悌三氏を講師として開催。
川場村、企画課と商工観光課を統合し、企画観光課を新設。
移動教室関係機関による打ち合わせを「移動教室情報連絡会議」と位置づけ開催。
㈱世田谷川場ふるさと公社代表取締役鈴木忠義氏、世田谷区民荣誉章授章。
森の学校企画展「川場の養蚕」開催（11・30）。
世田谷区総合防災訓練において、世田谷区と川場村の間での災害時通信体制を確認。
「森林と市民を結ぶ全国の集い」が群馬県で開催。第1及び第8分科会を川場村にて開催（9・16）。
世田谷区制70周年記念式典を開催。
友好の森10周年記念事業「森林フェスティバル 川場・世田谷」を田園ブラザ及び後山で開催。
ティーボール講習会を川場村社会体育館で開催（10・27）。
ふじやまビレッジボイラー交換工事完了。

11・8・8・7・7・7・6・4・3
18・24・15・22・21・19・23・20・23

やま（森林）づくり塾、専科教室「チェーンソー講習会」を開催（2・25）。
世田谷区民健康村第三期事業計画を策定（平成13・22年度）。
プレイガイド（交流事業一覧）を作成。移動教室等で配布。
第一回移動教室関係機関（区・村・公社・各教育委員会含む）による打ち合わせを開催。移動教室運営委員会・資料作成委員会の合同現地調査の際に開催することを確認。
ヒロイド原で、縁組協定20周年記念「ブルーベリー記念植樹」実施（2001本）。
ブルーベリー全国大会が川場村で開催（7・20）。
森の学校企画展、飯田裕子写真展「いのちの水がめぐるアジアから太平洋」開催（11・30）。
縁組協定20周年を記念し、世田谷フィルハーモニーコンサートが川場村文化会館で実施。
縁組協定20周年を記念し、川場まつりで世田谷区の団体がサンバ、ハワイアン（川場村「パウフラ」と競演）を披露。
世田谷区民健康村利用者、100万人達成。
第二回移動教室関係機関による打ち合わせを開催。勤労体験学習指導者との意見交換を実施。
世田谷区・川場村縁組協定20周年記念式典をふじやまビレッジにて挙行。記念碑の除幕式 記念植樹を実施。縁組協定20周年記念誌を発行。

2003

平成
15
年

1	・	11	三軒茶屋キャロットタワー生活工房ワークシヨップにおいて、川場村こ んにやく婦人部の講師による区内小学4～6年生の親子を対象にした ”こんにやくづくり“講習会を開催。
2	・	5	区民健康村用地賃貸借契約更新のための地権者説明会を、ふじやまブレ ジにおいて開催。
2	・	23	東京農業大学において、やま（森林）づくり塾専科教室「身につけてお きたい役立つ救急法」を開催。
3	・	20	横坂太一川場村村長、川場村内で開かれた講演会の総会で、今期限りの引 退を表明。
4	・	3	「健康村だより」エフエム世田谷にて放送開始。
4	・	19	第1回移動教室情報連絡会議が川場村にて行われる。
4	・	27	川場村村長選挙、関清当選。
4	・	27	世田谷区長選挙、熊本哲之当選。
5	・	14	世田谷区職員採用2年次研修が川場村で行われる。「第1回　く5・ 16」、「第2回　5・21く5・23」
5	・	16	交流親善スポーツ大会が、各界の講師を招き川場村にて行われる。（ゲ ートボール、ティールボール、バレーボール）く5・18」
6	・	6	災害時相互援助協定連絡会が行われる。
6	・	10	利根川上下流連携支援センター」設立。利根沼田森林組合に事務局が 設置される。
6	・	27	区民健康村推進会議が川場村で開催される。
7	・	15	森の学校企画展「川場村の古道を巡る」く5・11く30」
7	・	15	飯田祐子写真展「川場村の道祖神」がギャラリー「倉」にて開催される。 く5・8く31」
7	・	20	世田谷フィルハーモニーアンサンブルコンサートよかわば2003が 川場村文化会館で開催される。
8	・	8	せたがやふるさと区民まつりにおいて上州武尊太鼓連が出演。 やまづくりくらぶが富士山地区棚田の田んぼの畦の草刈を行う。」く 8・10」
8	・	20	第2回移動教室情報連絡会議が川場村で開催される。
9	・	1	世田谷区総合防災訓練において、川場村と通信体制の確認。
9	・	17	村主催の「市町村合併説明会」で川場村は自立路線を表明。
10	・	2	『東南アジア現代演劇との新しいコラボレーション』ワークシヨップ （インドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピン、タイ、アメ リカ、日本）く5・10く13」
10	・	28	ふじやまビレジ村民開放デー。
12	・	7	川場村文化祭にて菊花交流が行われる。
			友好の森事業合同検討委員会が川場村で開催される。

2004

平成16年

1・4	川場村新年祝賀式にて鈴木社長が記念講演を行う。テーマは、二十一世紀の川場村「わが村が庭」が合言葉
1・24	「生産者と消費者の意見交換」の一環として、こんにやくづくり講習会が船橋小学校と食事サービスサポートセンター「だんらん」にてそれぞれ開催される。〔5・25〕
4・17	第1回移動教室運営・資料作成委員会が川場村で開催される。
4・26	災害時相互援助協定連絡会議が川場村で開催される。
5・7	区民健康村推進会議が世田谷区で開催される。
5・12	世田谷区職員採用2年次研修が川場村で行われる。〔5・14〕
5・22	交流親善スポーツ大会が、各界の講師を招き川場村にて行われる。（テ
5・22	イボール・ゲートボール）〔5・23〕
6・5	富士山地区棚田オーナー制度「田植え」実施。
7・22	第1回世田谷川場還暦野球交流が川場村「てんぐ山公園」で行われる。
7・20	（世田谷シルバースネークス4VS5川場レッドファイターズ）
7・17	富士山地区棚田オーナー制度「草取り」実施。
7・24	自然教室シニアの部を「川場まるごと滞在記」として実施。（7・20
7・24	30・8・9・18・8・19・31）延べ70名が参加。
7・24	世田谷フィルハーモニー管弦楽団サマーコンサートが川場村文化会館で開催される。
7・31	せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。
8・19	第2回移動教室運営・資料作成委員会が川場村で開催される。
9・3	世田谷区総合防災訓練において、川場村と通信態勢の確認。
9・25	富士山地区棚田オーナー制度「稲刈り」実施。
10・28	ふじやまビレッジ村民開放デー。
11・23	世田谷次大夫堀公園手づくり市で生品簾・竹細工の製作実演。
12・12	やまぐり塾養成教室において、地元地権者との合同作業及び懇親会を実施。
12・12	友好の森事業合同検討委員会が川場村で開催される。
平成17年	
1・22	「生産者と消費者の意見交換」の一環として、こんにやくづくり講習会が世田谷区で開催される。〔2回目 1・29〕
3・6	世田谷郷土芸能大会に秋室獅子舞が出演。
4・27	災害時相互援助協定連絡会議が世田谷区で開催される。
5・15	天神山地区において、64年ぶり献穀祭「田植え祭」を実施。
5・21	富士山地区棚田オーナー制度「田植え祭」実施。
5・27	交流親善スポーツ大会が、各界の講師を招き川場村にて行われる。（テ
6・24	イボール・ゲートボール）〔5・28〕
7・11	区民健康村推進会議が川場村で開催される。
7・17	農産物世田谷流通出荷式がJA川場支所冷庫前で行なわれる。
7・17	富士山地区棚田オーナー制度「草取り」実施。

2005

平成
17
年

「生産者と消費者の意見交換」の一環として、こんにかくづくり講習会が世田谷区で開催される。「2回目 1・29」

世田谷郷土芸能大会に菰室獅子舞が出演。

災害時相互援助協定連絡会議が世田谷区で開催される。

天神地区において、64年ぶり献穀祭「田植え祭」を実施。

富士山地区棚田オーナー制度『田植え』実施。

交流親善スポーツ大会が、各界の講師を招き川場村にて行われる。

イーボール・ゲートボール）『5・28』

区民健康村推進会議が川場村で開催される。

農産物世田谷流通出荷式がJ A川場支所予冷庫前で行なわれる。

富士山地区棚田オーナー制度『草取り』実施。

2006

平成18年

8・5	7・29	7・8	6・30	6・11	5・30	5・20	5・13	4・27	4・24	3・8	3・6	2・26	2・16	1・16
後山整備計画地権者アンケートの実施。〔1・31〕 農産物世田谷出荷事業生産者・小売店等調整会議を世田谷区役所において平成18年度に向けた意見交換を実施。 「生産者と消費者の意見交換」の一環として、こんにやくづくり講習会が世田谷区で開催される。〔2回目 3・5〕 世田谷郷土芸能大会に教室獅子舞が出演。 新たな文化交流の一つとして世田谷区民写真展に川場村から10作品が特別参加。〔3・12〕 後山整備計画検討委員会実施。 災害時相互援助協定連絡会議が川場村で開催される。 レンタル農園開園。木ごころ塾開設。 交流親善ゲートボール大会が、川場村にて行われる。 健康村里山自然学校開校に伴う共同記者会見が世田谷区役所で行われる。 健康村オリジナル資格「手道具による伐木安全作業資格」の第1回認定試験をやま（森林）づくり塾で実施。 世田谷区民健康村事業推進会議が世田谷区で開催される。 健康村里山自然学校開校。 世田谷川場ふるさと公社創立20周年式典実施。 世田谷フィルハーモニー管弦楽団サマーコンサートが川場村文化会館で開催される。 せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。														

12・10	11・26	11・23	10・28	8・18	9・2	9・25	9・27	10・5	8・6	8・6	7・24	7・23
世田谷フィルハーモニー管弦楽団サマーコンサートが川場村文化会館で開催される。 川場村役場において「川場世田谷交流における共同宣言」が両首長により「5項目」の推進方法の確認を行う。 せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。 区民まつり参加に合わせ、両首長による「5項目」の推進方法の確認を行う。 第2回移動教室運営・資料作成委員会が川場村で開催される。 世田谷区総合防災訓練において、川場村と通信態勢の確認。 富士山地区棚田オーナー制度「稲刈り」実施。 新たな交流事業の一つ後山整備計画策定に向けワーキング会議を開催。 新たな文化交流の一つとして世田谷区民絵画展に川場村から9作品が特別参加。〔10・9〕 ふじやまビレッジ村民開放デー。 世田谷次大夫堀公園手づくり市で生品等・竹細工の製作実演。 第1回後山整備計画検討委員会を開催。 やまづくり塾養成教室において、地元地権者との合同作業及び懇親会を実施。												

2007

平成19年

12・8	12・1	11・20	11・25	10・12	10・12	10・5	10・3	9・1	8・4	8・1	7・28	7・4	6・25	5・19	5・12	4・25	4・21	3・17	1・14	1・4
世田谷区民写真展川場村初参加。同展覧会にて銅賞受賞。 後山整備計画地権者説明会を地区集會場で開催（立岩・生品地区）茅葺塾開設。 初級編農業技術教室 開講 災害時相互援助協定連絡会議が川場村で開催される。 やま（森林）づくり塾 専科教室にて第1回「友好の森ナビゲーター」認定 講座実施。 交流親善ゲートボール大会が、川場村にて行われる。 世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。 後山整備計画が内閣府の地域再生計画に認定。 世田谷フィルハーモニー管弦楽団サマーコンサートが川場村文化会館で開催される。 世田谷文学賞に川場村初参加。短歌4点、俳句1点応募。 せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。 世田谷区総合防災訓練において、川場村と通信態勢の確認。 世田谷区民絵画展に川場村から7点応募し6点入選。 移動教室3泊4日型の候補地として、移動教室運営委員・区教委が川場村を実踏。川場キャンプ場で宿泊体験した。〔1回目 10・6〕、〔2回目 10・28〕、〔29〕 鑑賞教室事前授業を川場小学校で4年生対象に実施。 鑑賞教室を世田谷美術館で実施。 地方自治法施行60周年記念式典で総務大臣表彰受賞。 村民開放デーに替わり温泉入浴券を全戸配布。 やま（森林）づくり塾養成教室において、地元地権者との合同作業及び懇親会を実施。																				

12・9	11・18	11・16	11・2	10・28	10・25	10・23	10・4	9・1
世田谷区総合防災訓練において、川場村と通信態勢の確認。 世田谷区民絵画展に川場村初参加。 第1回鑑賞教室事前授業を川場小学校で4年生対象に実施。 第1回鑑賞教室を世田谷美術館で実施。 ふじやまビレッジ村民開放デー。 縁組協定25周年記念事業として、中野地区ギャラリー蔵で向井潤吉、るさと美術展開催〔11・12〕 縁組協定25周年記念日 茅葺塾プレイベント実施 やま（森林）づくり塾養成教室において、地元地権者との合同作業及び懇親会を実施。								



2008

平成20年

12・13	11・25	11・23	11・7	11・4	10・8	10・7	9・23	9・1	8・23	8・4	8・1	7・26	7・13	7・1	6・30	6・18	5・17	4・14	4・1	3・26	3・20	3・6	1・4
世田谷区民写真展川場村から22点応募し2点優秀賞、6点入選。	後山の森林整備始まる。2.43ha。	後山林業作業道整備 L11752m W113m	地権者と川場村間で「後山の森林づくりとレクリエーションの森の使用協定を締結。地権者108名、森林面積101ha。	中野ヒロイトの土地賃貸契約締結。(面積88,209㎡↓46,475㎡)(期間平成20年4月1日から平成35年3月31日)	災害時相互援助協定連絡会議が川場村で開催される。	交流親善ゲートボール大会が、川場村にて行われる。	川場村ほかの里基金条例制定。(ふるさと納税)	世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。	区民健康村施設使用料改定。	東京お手玉の会とたんぼの会が川場村デイサービスセンター通所者とお手玉で交流。〔7・14〕	世田谷フィルハーモニー管弦楽団サマーコンサートが川場小学校体育館で開催される。	後山整備計画が林野庁補助事業の山村再生プランに応募し、優良プランに選定される。(①動物の生態調査、②植物調査、③古道調査、④新たな交流体験プログラムの策定、⑤森林施業計画の策定、⑥空き家実態調査と情報公開、⑦森林整備活動等の各種の事業を実施。)	せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。	東海大菅生高校が後山で森林整備活動を実施。〔8・24〕	世田谷区総合防災訓練において、川場村と通信態勢の確認。	群馬県弁護士会が後山で森林整備活動を実施。〔9・24〕	アストラゼネカ社が後山で森林整備活動を実施。	世田谷区民絵画展に川場村から8点応募し6点入選。	区民健康村事業用地取得。(面積5,755㎡)	鑑賞教室を世田谷美術館で実施。	出張絵画教室(群馬直美さん 葉っぱワークショップ)が田園プラザ川場で開催される。〔11・24〕	川場産米「雪ほたか」が全国米食味鑑定コンクールにおいて2年連続金賞を受賞。	やま(森林)づくり塾「養成・専科教室」において、地元地権者との合

2010

平成22年

3 ・ 20	3 ・ 20	3 ・ 31	3 ・ 31	4 ・ 15	5 ・ 1	5 ・ 16	6 ・ 16	6 ・ 26	8 ・ 22	8 ・ 22	9 ・ 26	10 ・ 3	10 ・ 6	10 ・ 9	10 ・ 20	11 ・ 11	11 ・ 8	12 ・ 1	平成 22 年			1 ・ 10	1 ・ 5	3 ・ 15	4 ・ 31	5 ・ 28	6 ・ 15	6 ・ 25	7 ・ 26	7 ・ 17	31		
後山の森林整備8.19ha延く10.64haを整備。	後山林業作業道【生品2号線】を整備（L11,050m W113m）	財団法人川場村観光開発公社が解散。	災害時相互援助協定連絡会議が世田谷区で開催される。	半藤家に伝わる故夏目漱石が食した糠みそに関する研究を東京農業大 学、世田谷区、川場村間で共同研究契約を締結。	交流親善ゲートボール大会が、川場村にて行われる。	守山小試行型移動教室実施。（9・7ゝ8深沢小、9・15ゝ16東大原 小）〔6・17〕	世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。	第2期友好の森事業計画策定。	せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。	東海大菅生高校が後山で森林整備活動を実施。	世田谷区民健康村第4期事業検討委員会設置。	川場村ボランティア協会が後山古道を整備。	群馬県地域協議会後山で間伐実施（12・19ゝ20、1・23ゝ24）〔9・27〕	出張絵画教室「りんごのころ」を開催。〔10・4〕	鑑賞教室を世田谷美術館で実施。	アストラゼネカ社が後山で森林整備活動を実施。	区民健康村ふるさと川場写真展を世田谷美術館で実施。（10・25）	世田谷区民絵画展に川場村から8点応募し銅賞1点入選。	世田谷246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村民2名が参加。	川場産米「雪ほたか」が全国米食味鑑定コンクールにおいて3年連続金 賞を受賞。	村制120周年記念式典を田園プラザ川場で開催。	世田谷区民写真展に川場村から27点応募し、金賞1点、優秀賞1点、 入選7点。	なかのビレッジ配管工事により休館。〔3・19〕	後山林業作業道【生品3号線】を整備（L11,122m W113m）	後山の森林整備6.29ha延く14.81haを整備。	災害時相互援助協定連絡会議が川場村で開催。	交流親善ゲートボール大会が川場村で開催。	東大原小試行型移動教室実施。（6・16ゝ18深沢小、10・4ゝ7守山 小）〔6・10〕	世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催。	世田谷区民健康村第4期事業計画を承認。	夏目家の糠床分与式が川場村で開催。	名主の館オープン。	せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。

2009

平成21年

1・4	2・14	2・20
世田谷区民写真展に川場村から22点応募し、銀賞1点、優秀賞1点、奨励賞1点、入選6点。	区民健康村利用者150万人達成記念セレモニーがふじやまビレッジで行われる。	川場小学校と千歳台小学校姉妹校25周年記念事業を開催。

2011

平成23年

11	11	10	10	10	10	8	6	6	5	3	3	3	3	2	1	平成23年
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
22	13	16	15	12	10	2	1	6	23	4	17	30	18	17	5	4

世田谷区民写真展に川場村から36点応募。入選二点、銅賞一点、励賞4点、優秀賞一点。
 全国小さくても輝く自治体フォーラムの会「農村と都市との交流研究会」を川場村で開催。〔2・24〕
 川場村において「川場の未来を考える交流フォーラム」を開催。
 東日本大震災による被災者の受け入れを開始。
 健康村施設の一部においても受け入れ態勢を取る。
 災害時相互援助協定に基づき世田谷区へ飲料水2.6tを搬送。
 後山林業作業道【生品4号線】を整備（L11800m W113.0m）
 災害時相互援助協定連絡会議が世田谷区で開催される。
 縁組協定30周年記念事業「田んぼアート」田植えの部」が川場村で開催される。
 世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。
 せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。
 出張絵画教室「樹を描く」が川場村で開催される。〔10・2〕
 第1回スカイビュートレイルが川場村で開催される。
 野田総理大臣が川場村を視察。
 鑑賞教室を川場小学校で実施。
 縁組協定30周年記念事業「田んぼアート」稲刈りの部」が川場村で開催される。
 縁組協定30周年記念式典が川場村で開催される。
 世田谷246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村民1名が参加。
 第13回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が川場村において開催さ

12	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	9	9
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
4	27	21	21	20	9	1	29	18	3	2	29	21

縁組協定30周年記念事業実行委員会設立。
 世田谷区民絵画展に川場村から5点応募。銅賞一点、佳作一点。〔10・3〕
 皇太子殿下、川場村を行啓「田園プラザ川場」をご視察。
 第34回全国育樹祭が県立森林公園21世紀の森で開催。
 皇太子殿下、ふじやまビレッジ行啓「殿下主催昼食会」を開催。
 鑑賞教室を川場小学校で実施。
 出張絵画教室「芸術収穫祭」を開催。〔10・30〕
 世田谷区役所職員食堂での食文化交流事業に「ギンヒカリ」を提供。〔11・5〕
 なかのビレッジで世田谷区新規採用職員宿泊研修を実施。〔11・12〕
 世田谷区ボランティア団体が村内清掃を実施。
 世田谷246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村民3名が参加。
 第12回米・食味分析鑑定コンクール国際大会において川場村産コシヒカリ「雪ほたか」が4年連続金賞を受賞。
 世田谷区用賀にて川場村産手打ち蕎麦を販売。〔11・28〕
 美味いお米コンクール関東甲信越静大会が川場村で開催。川場産コシヒカリ「雪ほたか」が団体部門で金賞を受賞。

2013

平成25年

5	4	3	3	2	平成25年
・	・	・	・	・	
21	11	31	25	14	

千歳台小学校と川場小学校によるスキー交流（川場スキー場）と稚魚放流が実施される。
 川場村観光協会が旧物産館に改装移転される。
 後山の森林280aを整備。
 災害時相互援助協定連絡会議が川場村で開催される。
 世田谷区新規採用職員研修が区民健康村で開催される。〔5・24〕

12	11	11	11	11	10	10	10	9	9	8	7	6	6	5	4	3	2	1	平成24年
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
3	22	12	11	3	22	30	29	4	31	25	2	31	24	31	20	24	20	20	

川場村と学校法人東京農業大学において連携に関する協定が締結された。
 川場村・学校法人東京農業大学・清水建設株式会社による「元気なふるさと」づくり協定が締結された。
 世田谷区民写真展に川場村から26点応募。グランプリ一点、優秀賞一点、入選11点。〔4・8〕
 後山の森林整備6aを整備。
 災害時援助協定連絡会議が川場村で開催される。
 世田谷区新規採用職員宿泊研修が区民健康村で開催される。〔5・25〕
 「田んぼアート」田植えの部」が川場村で開催される。
 世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。
 田園プラザ敷地内において加工直販施設（ピザ工房）竣工。
 せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。
 出張絵画教室「水のみなもと」が川場村で開催される。〔9・30〕
 第2回スカイビュートレイルが川場村で開催される。
 世田谷区民絵画展に川場村から11点応募し、銀賞一点。〔10・27〕
 世田谷区制80周年式典にて川場村物産展を開催。
 「田んぼアート」稲刈りの部」が川場村で開催される。
 スポーツ広場オープン記念イベントとして「スフィード」世田谷対ベガルタ仙台の公式戦が開催される。
 川場村名誉村民顕彰式典が挙行され、故永井鶴二氏と故大場啓二氏が顕彰される。
 世田谷246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村民2名が参加。
 鑑賞教室を川場小学校で実施。
 第14回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が長野県において開催され、川場村産コシヒカリ「雪ほたか」が6年連続で金賞を受賞。〔11・23〕
 世田谷区制80周年記念イベントにて、川場村物産展を開催。また、田んぼアート実行委員会「縁人」による区民への田んぼアートの無料配布を実施。

2012

平成24年

12	11	11	11	11	10	10	10	9	9	8	7	6	6	5	4	3	2	1	平成24年
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
3	22	18	31	31	22	30	29	4	31	25	2	31	24	31	20	24	20	20	

川場村と学校法人東京農業大学において連携に関する協定が締結された。
 川場村・学校法人東京農業大学・清水建設株式会社による「元気なふるさと」づくり協定が締結された。
 世田谷区民写真展に川場村から26点応募。グランプリ一点、優秀賞一点、入選11点。〔4・8〕
 後山の森林整備6aを整備。
 災害時援助協定連絡会議が川場村で開催される。
 世田谷区新規採用職員宿泊研修が区民健康村で開催される。〔5・25〕
 「田んぼアート」田植えの部」が川場村で開催される。
 世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。
 田園プラザ敷地内において加工直販施設（ピザ工房）竣工。
 せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。
 出張絵画教室「水のみなもと」が川場村で開催される。〔9・30〕
 第2回スカイビュートレイルが川場村で開催される。
 世田谷区民絵画展に川場村から11点応募し、銀賞一点。〔10・27〕
 世田谷区制80周年式典にて川場村物産展を開催。
 「田んぼアート」稲刈りの部」が川場村で開催される。
 スポーツ広場オープン記念イベントとして「スフィード」世田谷対ベガルタ仙台の公式戦が開催される。
 川場村名誉村民顕彰式典が挙行され、故永井鶴二氏と故大場啓二氏が顕彰される。
 世田谷246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村民2名が参加。
 鑑賞教室を川場小学校で実施。
 第14回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が長野県において開催され、川場村産コシヒカリ「雪ほたか」が6年連続で金賞を受賞。〔11・23〕
 世田谷区制80周年記念イベントにて、川場村物産展を開催。また、田んぼアート実行委員会「縁人」による区民への田んぼアートの無料配布を実施。

れ川場村産コシヒカリ「雪ほたか」が5年連続金賞を受賞。

2014

平成
26
年

1 世田谷区写真展に川場村から14点応募し、1点銅賞、1点奨励賞、12
点入選。〔1・12〕
梅まつりにおいて田んぼアート実行委員会「縁人」による区民への田ん
ぼアートの無料配布を実施。
2 千歳台小学校と川場小学校によるスキー交流と30周年記念式典が実施
される。〔2・14〕
3 区民健康村のあゆみ（改訂版）を発行。
4 後山の森林整備4.3haを整備。
5 災害時相互援助協定連絡会議が川場村で開催される。
5 世田谷区新規採用職員研修が区民健康村で開催される。〔5・23〕
5 川場村スポーツ広場において「スライダー」世田谷と常磐木学園」の公式
戦が開催される。
6 「田んぼアート・田植えの部」が川場村で開催される。
6 世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。
8 世田谷ふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。
9 関東道の駅アワード2014にて、田園プラザが「プレミアム30」、
「ユイザー賞（みんなのNo.1）」を受賞。
9 第1回上州武尊山スカイビュー・ウルトラトレイルが川場村で開催され
る。〔9・22〕

6 川場村スポーツ広場において「スライダー」世田谷とAC長野」の公式戦
が開催される。
6 世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。
6 世田谷川場ふるさと公社株主総会にて、鈴木忠義氏が代表取締役を退
任、後任として宮林茂幸氏が就任。
8 世田谷ふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。
8 せたがやジュニアオーケストラ夏の合宿が区民健康村において実施され
る。〔8・20〕
8 ふじやまビレッジにて改修工事（建築、機械設備、電気設備）を実施。そ
れに伴い、施設を休館する（休館時期：10・27～12・6）。〔8・
14・1・31〕
9 出張絵画教室「木の一生を描く」が川場村で開催される。〔9・
29〕
9 第3回スカイビュートレイルが川場村で開催される。
9 鑑賞教室を川場小学校で実施。
10 世田谷区絵画展に川場村から8点応募し、全て入選。〔10・6〕
10 「田んぼアート・稲刈りの部」が川場村で開催される。
11 246ハーフマラソン交流自治体招待で村民2名が参加。
11 第15回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が宮城県において開催さ
れ、川場村産コシヒカリ「雪ほたか」が7年連続金賞を受賞。〔11・
24〕

2015

平成
27
年

5 世田谷区写真展に川場村から14点応募し、1点銅賞、1点奨励賞、12
点入選。〔1・12〕
梅まつりにおいて田んぼアート実行委員会「縁人」による区民への田ん
ぼアートの無料配布を実施。
2 千歳台小学校と川場小学校によるスキー交流と30周年記念式典が実施
される。〔2・14〕
3 区民健康村のあゆみ（改訂版）を発行。
4 後山の森林整備4.3haを整備。
5 災害時相互援助協定連絡会議が世田谷区で開催される。
5 世田谷区新規採用職員研修が区民健康村で開催される。〔5・22〕
5 「田んぼアート・田植えの部」が川場村で開催される。
6 世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。
7 ミラノ万博にて川場村の雪ほたかを使用した「お米のスープ」を提供。
7 第2回上州武尊山スカイビュー・ウルトラトレイルが川場村で開催され
る。〔7・20〕
7 川場まつりに世田谷区長が参加。
7 世田谷区教員初任者研修が区民健康村で開催される。〔7・31〕
8 世田谷ふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。ふるさと交流会に
川場村長が参加。
9 出張絵画教室「スケッチ探訪！川場アート漫遊記」が川場村で開催
される。〔9・27〕
9 鑑賞教室を川場小学校で実施。
10 道の駅川場田園プラザが「第7回観光庁長官表彰」を受賞。
10 「田んぼアート・稲刈りの部」が川場村で開催される。
10 川場村・鳥山東地区・鳥山西地区民生委員・児童委員協議会「交流・意
見交換会」が川場村で開催される。
11 「エネフェス」せたがや2015において首長会談が開催。川場村長を
含め12自治体に参加。併せて「自然エネルギー活用による自治体間ネ

9 出張絵画教室「アーティストと歩く川場村」美術館から出かけるスケッ
チの旅」が川場村で開催される。〔9・28〕
9 「田んぼアート・稲刈りの部」が川場村で開催される。
10 鑑賞教室を川場小学校で実施。
10 246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村から3名が参加。
11 第16回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が青森県において開催さ
れ、川場村産コシヒカリ「雪ほたか」が8年連続金賞を受賞。〔11・
24〕
12 「川場村ライスセンター」完成。
12 世田谷区民絵画展に川場村から6点応募し、5点入選。〔11・11〕
1 田園プラザが国土交通省により全国モデル「道の駅」に選定される。
1 千歳台小学校と川場小学校によるスキー交流が実施される。〔12・
14〕
3 後山の森林整備4.3haを整備。
3 区民健康村シャトルバスを廃止。
4 区民健康村ふじやまビレッジ・なかのビレッジにおいて、世田谷文学館「ど
こでも文学館出張展示「三川場」」を開催。〔10月〕
4 川場村長選挙外山京太郎氏無投票当選。世田谷区長選挙 保坂展人
氏当選（再選）
4 川場村が「平成27年度 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受
賞。

2016

平成28年

12月3日

「ツトワーク会議」も開催される。〔5・11・7〕
246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村から3名が参加。
友好の森の材が第46回群馬県優良素材展示会にて優良賞受賞。

1月4日

世田谷区民写真展に川場村から14点応募し、銅賞1点、奨励賞1点、入選12点。〔5・11・12〕

1月9日

川場村新年祝賀式に世田谷区副区長が参加。

1月10日

世田谷区新年のつどいに川場村長が参加。

2月8日

千歳台小学校と川場小学校によるスキー交流が実施される。〔5・2・9〕

2月11日

世田谷区羽根木公園にて開催された梅まつりに群馬県のマスコットキャラクター「ぐんまちゃん」と川場村のマスコットキャラクター「かわたん」が参加。

2月14日

梅まつりにおいて田んぼアート実行委員会「縁人」による区民への田んぼアートの無料配布を実施。

2月15日

川場村と世田谷区の間で「自然エネルギー活用による発電事業に関する連携・協力協定」を締結。

3月31日

後山の森林整備350を整備。

3月31日

移動教室30周年記念誌が発行される。

5月24日

災害時相互援助協定連絡会議が川場村で開催される。

5月24日

世田谷区新規採用職員研修が区民健康村で開催される。〔5・5・27〕

5月28日

第70回群馬県植樹祭が区民健康村「友好の森」において、開催される。

6月4日

出張絵画教室「美術館から出かけるスケッチ旅2」川場村りんご花便りが川場村で開催される。〔5・6・12〕

6月6日

世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。

7月24日

第35回川場まつりに世田谷区長が参加。

7月27日

世田谷区教員初任者研修が区民健康村で開催される。〔5・7・29〕

8月6日

第39回せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。ふるさと交流会に川場村長が参加。

9月10日

第3回上州武尊山スカイビュー・ウルトラトレイルが川場村で開催される。〔5・9・12〕

9月

区民健康村ふじやまビレッジ・なかのビレッジにおいて、世田谷文学館「どこでも文学出張展示」川場」を開催。〔5・17・2月〕

10月1日

「田んぼアート」稲刈りの部」が川場村で開催される。

10月23日

KAWABANA国際自然文化サミットが川場村で開催される。

10月29日

「エネフェス」せたがや2016において、ふるさと物産展に参加。〔5・10・30〕

11月2日

世田谷区、世田谷美術館共催による美術鑑賞教室を川場小学校で実施。

11月13日

246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村から4名が参加。

11月19日

第2回自治体間連携フォーラムが世田谷区と川場村の共催で、川場村に

2017

平成29年

て開催される。（参加自治体数…10自治体）〔5・11・20〕

1月4日

世田谷区民絵画展に川場村から7点応募し、銀賞1点、佳作2点。〔5・1・8〕

1月7日

川場村新年祝賀式に世田谷区副区長が参加。

1月8日

世田谷区新年のつどいに川場村長が参加。

2月11日

千歳台小学校と川場小学校によるスキー交流が実施される。

2月11日

世田谷区羽根木公園にて開催された梅まつり「40周年記念式典」に川場村長が参加。

3月31日

後山の森林整備350を整備。

4月1日

川場村における自然エネルギーを活用した、川場産電力の世田谷区民への供給が開始される。

5月9日

川場村木質バイオマス発電施設完成式に世田谷区長が参加。

5月10日

災害時相互援助協定連絡会議が世田谷区で開催される。

5月23日

世田谷区新規採用職員研修が区民健康村で開催される。

5月23日

「田んぼアート」田植えの部」が川場村で開催される。〔5・5・26〕

6月23日

世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。

7月23日

第36回川場まつりに世田谷区長が参加。

7月26日

世田谷区教員初任者研修が区民健康村で開催される。〔5・7・28〕

8月5日

第40回せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。ふるさと交流会に川場村長が参加。

9月22日

第4回上州武尊山スカイビュートレイルが川場村で開催される。

9月30日

「田んぼアート」稲刈りの部」が川場村で開催される。

10月8日

区政85周年記念式典に川場村長が参加。

10月8日

（株）世田谷川場ふるさと公社相談役 鈴木忠義氏が世田谷区名誉区民に顕彰される。

10月23日

東京2020オリンピック・パラリンピック大会アメリカ選手団キャンプ契約締結式が開催される。

10月28日

世田谷区民の川場産電力購入者向けに、川場村木質バイオマス発電施設等の見学ツアーが実施される。28名、18世帯。

11月2日

世田谷区、世田谷美術館共催による美術鑑賞教室を川場小学校で実施。

11月12日

246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村から4名が参加。

11月12日

元川場村長 横坂太一氏逝去（85歳）。

12月3日

全国学校給食甲子園決勝大会において、川場村学校給食センターが「21世紀構想研究会特別賞」を受賞した。

2018

平成30年

1月6日

川場村新年祝賀式に世田谷区副区長が参加。

1月7日

世田谷区新年のつどいに川場村長が参加。

1月13日

世田谷区民写真展に川場村から9点応募し、銅賞1点、入選8点。〔5・1・21〕

平成31年／令和元年

道の駅「川場田園プラザ」が土木学会デザイン賞において、「奨励賞」を受賞。

千歳台小学校と川場小学校によるスキー交流が実施される。
冬×ふじやまプロジェクトが富士山地区において開催される。
〔株〕世田谷川場ふるさと公社相談役 鈴木忠義氏ご逝去（93歳）。
KAWABA国際自然文化サミットが川場村で開催される。
第51回世田谷区民文化祭郷土芸能大会へ川場村萩室獅子舞保存会が出演。

後山の森林整備0.35haを整備。

災害時相互援助協定連絡会議が川場村で開催される。
世田谷区新規採用職員研修が区民健康村で開催される。〔5・25〕
「田んぼアート・田植えの部」が川場村で開催される。
世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。
第37回川場まつりに世田谷区長が参加。
世田谷区教員初任者研修が区民健康村で開催される。〔7・27〕
第41回せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。ふるさと交流会に川場村長が参加。
ふじやまビレッジ新温浴施設「せせらぎの湯」が供用開始される。
「せせらぎの湯」開設式および「せせらぎの湯」村民開放がふじやまビレッジで開催される。
第5回上州武尊山スカイビュートレイルが川場村で開催される。〔9・24〕
「田んぼアート・稲刈りの部」が川場村で開催される。
世田谷区、世田谷美術館共催による美術鑑賞教室を川場小学校で実施。
246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村から5名が参加。

令和元年

川場村新年祝賀式に世田谷区副区長が参加。
世田谷区新年のつどいに川場村長が参加。
世田谷区民絵画展に川場村から4点応募し、入選4点。〔1・13〕
千歳台小学校と川場小学校によるスキー交流が実施され、両校の交流35周年記念式典が、両教育長出席のもと開催される。〔2・1〕
冬×ふじやまプロジェクトが富士山地区において開催される。
故鈴木忠義氏（株）世田谷川場ふるさと公社相談役）が川場村名誉村民顕彰される。

後山の森林整備0.31haを整備。

世田谷区新規採用職員研修が区民健康村で開催される。〔5・24〕
災害時相互援助協定連絡会議が世田谷区で開催される。
米国選手と子どもたちとのレター交流の実施。〔12月〕
「田んぼアート・田植えの部」が川場村で開催される。
世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。
自然エネルギー活用による自治体間ネットワーク会議が世田谷区で開催される。

令和2年

世田谷区教員初任者研修が区民健康村で開催される。〔く・7・25〕

第38回川場まつりに世田谷副区長が参加。

ふじやまビレッジ「食事処さくら川」がオープンとなる。

第42回せたがやふるさと区民まつりに上州武尊太鼓連が出演。ふるさと交流会に川場村長が参加。

米国金メダリストによる水泳教室が実施され、川場村から3名の子どもたちが参加。

世田谷区民健康村第5期事業計画検討委員会準備会が開催される。

世田谷区民健康村第5期事業計画検討委員会第1回会議が世田谷区で開催される。

世田谷美術館ワークショップが川場村で開催され、村民2名が参加。

〔く・9・9〕

第6回上州武尊山スカイビュートレイルが川場村で開催される。〔く・9・23〕

「田んぼアート…稲刈りの部」が川場村で開催される。

世田谷区民健康村第5期事業計画事務調整会議が開催される。

世田谷区民健康村第5期事業計画検討委員会第2回会議が川場村で開催される。

区民ボランティアにより川場小学校で美術鑑賞教室を実施。

246ハーフマラソン交流自治体招待で川場村から4名が参加。

世田谷区立総合運動場陸上競技場オープンイベントに川場村長が参加。

米国陸上選手との交流イベントに8名の子どもたちが参加。

「デイスカバー農山(む)漁村(へ)の宝」第6回選定授与式が総理大臣官邸で行われ、富士山集落活性化協議会が表彰される。

世田谷区民健康村第5期事業計画検討委員会第3回会議が川場村で開催される。

川場村新年祝賀式に世田谷区副区長が参加。

世田谷区新年のつどいに川場村長が参加。

世田谷区民写真展に川場村から5名7点応募し、優秀賞1点、入選6点。(く・11・12)

ホテル田園プラザにおいて、木質バイオマスボイラーが導入される。

千歳台小学校と川場小学校によるスキー交流が実施される。

冬×ふじやまプロジェクトが富士山地区において開催される。

世田谷区民健康村第5期事業計画検討委員会第4回会議が川場村で開催される。

ふじやまビレッジにおいて、木質バイオマスボイラーが導入される。

後山の森林整備のc&hを整備。

川場村と世田谷区の交流事業の一環として、世田谷区職員1名が川場村に派遣され新拠点構想事業に携わる。

2021

令和3年

4・13	川場村から「飲むヨーグルト（200本）」が世田谷区内の児童養護施設等に寄贈される。
5・1	川場村の（株）雪ほたかから「雪ほたかレンジャアップごはん（1,000個）」が世田谷区内の母子生活支援施設等に寄贈される。
6・6	「田んぼアート・田植えの部」が川場村の関係者で開催される。
6・17	世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。
6・18	ふじやまビレジ本館浴場改修工事完了。
7・11	縁組協定40周年記念事業第一回ワークショップが川場村で開催される。〔7・12〕
7・18	ふじやまビレジ野外炊事場完成。
8・1	ふじやまビレジにおいて、木質バイオマスボイラーの稼働が開始される。
9・4	自然エネルギー活用による自治体間ネットワーク会議がZoom会議で開催される。
9・16	川場村から移動教室が中止になった世田谷区立小学生5年生へりんごジュースが寄贈される。
10・5	「田んぼアート・稲刈りの部」が川場村の関係者で開催される。
10・10	縁組協定40周年記念事業第2回ワークショップが川場村で開催される。〔10・11〕
10・24	里山塾特別版「古民家茅葺体験教室」が開催され、区民15名画参加し、村民6名が協力。〔10・25〕
11・8	246ハーフマラソンがオンラインで実施され、交流自治体招待で川場村から1名が参加。〔11・15〕
11・11	令和2年度豊かな暮らしづくり全国表彰事業関東ブロック表彰式がさいたま新都心合同庁舎で行われ、富士山集落活性化協議会が農林水産大臣賞を表彰される。〔11・29〕
11・28	里山塾特別版「古民家茅葺体験教室」が開催され、区民2名が参加し、村民4名が協力。
1・9	川場村新年祝賀式に世田谷区副区長が参加され、区議会議長はビデオメッセージで参加。
1・10	世田谷区新年のつどいが区YouTubeチャンネルで配信され、川場村長は映像参加。
2・13	冬×ふじやまプロジェクトが富士山地区において開催される。
3月	米国選手と子どもたちのレター交流が実施され、世田谷区から7名、川場村から1名参加。
3・2	川場村における自然エネルギー活用による発電事業に関する協議会がZoom会議で開催される。
3・29	古民家屋根改修工事完了。
3・31	後山の森林整備「15ha」を整備。
4・1	川場村職員1名が世田谷区に派遣され、相互の職員派遣が始まる。
5・14	役場新庁舎の造成工事が開始される。

2022

令和4年

5月	米国選手と世田谷区の子どもたちのレター交流に、川場村中学校の生徒2名が参加する。
6・24	世田谷区民健康村事業推進会議が川場村で開催される。
7・17	縁組協定40周年記念事業第3回ワークショップがオンラインにより開催される。
8・19	特別区全国連携プロジェクトの全国連携講演会がオンラインにより開催され、世田谷区と川場村の交流の取組み事例を発表する。
9・4	縁組協定40周年記念事業第4回ワークショップがオンラインにより開催される。
9・7	自然エネルギー活用による自治体間ネットワーク会議がオンラインにより開催される。
10・2	せたがやふるさと区民まつりがオンラインにより開催され、川場村長が映像出演する。〔10・3〕
10・21	縁組協定40周年記念事業の一環として、羽根木プレーパークリーダーハウスの部材の一部に川場産木材を活用した整備を開始する。（令和4年3月31日竣工）
11・3	縁組協定40周年記念講演会と新型コロナウイルス退散祈願の花火大会が川場村において開催される。
11・7	エフエム世田谷「区長の談話室」の縁組協定40周年をテーマにした番組に川場村長が電話出演する。
11・27	第23回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が静岡県小山町において開催され、川場村産の「ゆうだい21」が金賞を受賞する。
11・28	世田谷区川場村縁組協定40周年記念式典・シンポジウムが東京農業大学横井講堂で開催される。
12・11	自治体間連携フォーラムがオンラインにより開催され、縁組協定40周年に関する事例を発表する。
12・24	中止となった「海辺・都市交流体験」に申し込んだ川場小学校の児童を対象に、世田谷区内の6大学からワークキットが贈られ、ワークキットづくり教室が開催される。
1・4	世田谷区民絵画・写真展に川場村から応募し、審査を通過した9点が展示会に出品される。〔1・7〕
2・6	世田谷区・川場村縁組協定40周年区民健康村関係者の集いが川場村で開催され、世田谷区長がビデオメッセージで出演する。
2・18	川場小学校5年生と千歳台小学校5年生のオンライン交流会が開催される。
3・18	川場村における自然エネルギー活用による発電事業に関する協議会が書面により開催される。
3・30	世田谷区・下北沢商店連合会（株）オオゼキなどが企画開発し、雪ほたかを原材料の一部にした「下北沢CHAS（カオス）ビール」の販売が始まる。

3 31	後山の森林整備「15haを整備。 武尊大橋が開通する。	3 17
4 1	世田谷区・川場村「縁組協定40周年記念イベント」実行委員会を開催する。〔5・29〕	3 28
5 28	世田谷区民健康村事業推進会議を川場村で開催する。	3 28
6 23	世田谷区民健康村事業推進会議を川場村で開催する。	3 31
7 19	道の駅川場田園プラザが『じゃらん』全国道の駅グランプリ2022で全国1位を獲得。	4 1
7 21	川場小学校と千歳台小学校の夏の交流が2年ぶりに世田谷区内で開催される。	6 26
8 6	第43回せたがやふるさと区民まつりが3年ぶりに若林公園で開催され、川場村物産展を実施。〔8・7〕	7 21
8 8	こども里山自然学校・川場まると滞在記（夏の教室）が開催され区民26名・村民5名が参加。〔8・11〕	7 30
8 15	川場村中学校3年生のENGLISHキャンプが、なかのビレッジで開催され、テンブル大学生8名も参加。〔8・18〕	8 5
8 20	世田谷区・川場村「縁組協定40周年記念イベント」を川場村中央公園で開催し、村民及びツアー参加の区民、約900名が来場する。	8 7
8 21	「縁組協定40周年記念イベント」のプログラムとして、友好の森内で遊歩道（友好の小径）の整備を行う。	8 23
10 16	世田谷区政90周年イベントが開催される。	9 10
10 28	自然エネルギー活用による自治体間ネットワーク会議がオンラインにより開催される。	10 1
11 8	世田谷区採用3年目職員を対象とした川場村宿泊研修が開催され、69名が参加する。〔11・10〕	10 29
11 2	キネコ国際映画祭オープニングセレモニーが区内で開催され川場村の中学生8名が招待される。	11 6
11 13	第17回世田谷246ハーフマラソンに川場村民1名が参加し完走。	11 7
12 26	世田谷美術館の出張事業として、川場小学校4年生を対象としたオンライン授業が開催される。	11 14
12 2	第24回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が長野県小諸町において開催され、川場村産の「ゆうだい21」が国際総合部門で金賞を受賞し、川場村として通算14回目の同部門の金賞受賞となる。〔12・3〕	11 22
12 9	自治体連携フォーラムがオンラインにより開催され、世田谷区長・川場村長が参加する。	12 1
12 18	川場村役場新庁舎の立柱式と餅投げが開催される。	12 8
12 26	こども里山自然学校・川場まると滞在記（冬の教室）を開催し区民32名が参加。〔12・28〕	12 26
令和5年 1 26	川場小学校と千歳台小学校の5年生のスキー交流が2年ぶりに川場スキー場で開催される。〔1・27〕	
2 11	3年ぶりに、せたがや梅まつりが開催され、川場村物産展を実施。	

3 24	世田谷区民絵画・写真展で川場村在住・在勤7名の作品が展示される。〔3・24〕	3 24
3 28	縁組協定40周年記念誌を刊行。	3 28
3 31	令和2年から始まった村営上宿原地区土地改良事業が完了し、上宿原記念碑除幕式・事業完成祝賀式を施行。	3 31
4 1	後山の森林整備「15haを整備。	4 1
4 26	川場学園開校準備室を立ち上げる。	4 26
6 26	世田谷区民健康村事業推進会議を川場村で開催。	6 26
7 21	川場小学校と千歳台小学校の夏の交流を世田谷区内で開催。（両校の交流40周年を祝う会を実施）	7 21
7 30	4年ぶりに川場まつりを川場村中央公園で開催し、世田谷区産業振興公社が世田谷みやげの販売を実施。	7 30
8 5	第44回せたがやふるさと区民まつりが若林公園で開催され、川場村物産展を実施。〔8・6〕	8 5
8 7	こども里山自然学校・川場まると滞在記（夏の教室）を開催し区民こども29名・まると14名が参加。〔8・10〕	8 7
8 23	道の駅川場田園プラザが『じゃらん』全国道の駅グランプリ2023で2年連続となる全国1位を獲得。	8 23
9 10	東京農業大学の協力を得て友好の小径にウッドデッキを整備。〔9・11〕	9 10
10 1	世田谷美術館主催の美術館ワークショップを川場村内で開催。〔10・2〕	10 1
10 29	川場村役場新庁舎newlook BASEの落成式を行い関係者約250名が参加。	10 29
11 6	川場村役場新庁舎newlook BASEが開庁。	11 6
11 7	世田谷区採用3年目職員を対象とした川場村宿泊研修が開催され、107名（村職員1名を含む）が参加。〔11・9〕	11 7
11 14	世田谷区採用3年目職員を対象とした川場村宿泊研修が開催され、107名（村職員1名を含む）が参加。〔11・16〕	11 14
11 22	第18回世田谷246ハーフマラソンに川場村民4名が参加し完走。	11 22
11 22	川場小学校4年生を対象とした世田谷美術館の美術鑑賞教室を4年ぶりに川場小学校で実施。	11 22
12 1	第25回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が新潟県津南町において開催され、川場村産の「ゆうだい21」が国際総合部門で金賞を受賞し、川場村として通算15回目の同部門の金賞受賞となる。〔12・2〕	12 1
12 8	自治体連携フォーラムが世田谷区で開催され、世田谷区長・川場村長が参加。〔12・9〕	12 8
12 26	こども里山自然学校・川場まると滞在記（冬の教室）を開催し区民こども34名・まると13名が参加。〔12・28〕	12 26

2024

令和6年

1・25	川場小学校と千歳台小学校の5年生のスキー交流を川場スキー場で開催。また、川場小学校で交流40周年お祝い会を開催。〔～・26〕
2・11	コロナの影響により活動を縮小していた門前地区の春駒が4年ぶりに開催。（コロナ禍では桑の枝の配布のみを実施）
3・15	世田谷区民展で川場村在住・在勤一名が写真部門に参加。〔～3・22〕
3・20	川場村木質バイオマス発電購入者へお礼の品（かわたんグッズ）を送る。（希望者17名宛）
3・31	後山の森林整備 約1haを整備。
4・1	新型コロナウイルスの影響により泊2日としていた川場村移動教室が、今年度から2泊3日に戻る。
6・27	世田谷区民健康村事業推進会議を川場村で開催。
7・9	自治体連携フォーラムが北海道中川町で開催され、世田谷区長・川場村長が参加。〔～7・10〕
7・23	道の駅川場田園プラザが『じゃらん』全国道の駅グランプリ2024で全国2位を獲得。
7・28	川場小学校と千歳台小学校の夏の交流を世田谷区内で開催。
8・3	川場まつりが川場村中央公園で開催され、世田谷区長が参加。
8・5	第45回せたがやふるさと区民まつりが8年ぶりに「JA馬事公苑」で開催され、川場村物産展を実施。〔～8・4〕
9・14	こども里山自然学校・川場まるごと滞在記（夏の教室）を開催し、こども24名（区民）・まるごと16名（区民）が参加。〔～8・8〕
9・22	愛宕山里山再生ボランティア活動に里山自然学校サポーター2名が参加。〔～9・15〕
9・22	東京農業大学の協力を得て友好の小径を延伸。〔～9・23〕
11・1	世田谷美術館主催の美術館ワークショップを川場村内で開催。〔～9・23〕
11・10	川場小学校4年生を対象とした世田谷美術館の美術鑑賞教室を川場小学校で実施。
11・19	第19回世田谷246ハーフマラソンに川場村民1名が参加し完走。
12・6	世田谷区採用3年目職員を対象とした川場村宿泊研修が開催され、73名が参加。〔～11・21〕
12・26	第26回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が山梨県北杜市において開催され、川場村産の「ゆうだい21」が国際総合部門で金賞を受賞し、川場村として通算16回目の同部門の金賞受賞となる。〔～12・7〕
	こども里山自然学校・川場まるごと滞在記（冬の教室）を開催し、こども31名（内、村民5名・区民26名）・まるごと19名（区民）が参加。〔～12・28〕

2025

令和7年

1・18	こんにやく講習会を世田谷区桜丘区民センターで開催。
1・23	川場小学校と千歳台小学校の5年生のスキー交流を川場スキー場で開催。
2・8	ふじやま冬の竹灯籠まつりが開催され、里山自然学校サポーター4名が参加。
3・14	世田谷区民展で川場村在住・在勤一名が写真作品にて参加。〔～3・22〕
3・20	川場村木質バイオマス発電購入者へお礼の品（かわたんグッズ）を送る。（希望者17名宛）
3・31	後山の森林整備 約1haを整備。
4・7	川場小学校及び川場中学校を統廃合し、9年制の義務教育学校である「川場学園」が開校。
6・16	世田谷区民健康村事業推進会議を川場村で開催。
6・26	自治体連携フォーラムが北海道白老町で開催され、世田谷区長及び川場村長が参加。〔～4・28〕
7・16	道の駅川場田園プラザが「じゃらん」全国道の駅グランプリ2025及び「もう一度利用したい道の駅ランキング2025」の両部門で第一位を獲得。
7・27	川場小学校と千歳台小学校の夏の交流を世田谷区内で実施。
7・28	川場まつりが川場村中央公園で開催され、世田谷区副区長及び世田谷区議会議長が参加。あわせて、世田谷みやげの売店販売を実施。
8・2	第46回せたがやふるさと区民まつりが「JA馬事公苑」で開催され、川場村長が参加。併せて、川場村物産展を実施。〔～8・3〕
8・4	こども里山自然学校・川場まるごと滞在記（夏の教室）を開催し、こども23名（うち村民1名・区民22名）、まるごと21名（区民）が参加。〔～8・7〕
9・20	第11回上州武尊山スカイビュートレイルが開催され、区職員1名がスカイビュートレイル80に参加し完走。〔～9・21〕
9・28	世田谷美術館による美術館ワークショップを川場村内で開催。〔～9・29〕
10・4	愛宕山火祭に里山自然学校サポーター3名が参加。
10・19	村事業の村民ウォーキングを世田谷区の砧公園で実施。併せて、隣接する世田谷区立総合運動場で開催された区民スポーツまつりの体験イベントに参加。
11・4	川場学園4年生及び7年生を対象とした世田谷美術館による美術鑑賞教室の出張授業を実施。
11・9	第20回世田谷246ハーフマラソンに川場村民2名が参加し完走。18歳（高校生を除く）～39歳女子の部で第一位を獲得。
11・18	世田谷区採用3年目職員を対象とした川場村宿泊研修が開催され、75名が参加。併せて、川場村職員3名も参加。〔～11・20〕
11・22	里山塾での茅刈を実施し、区職員7名及び村職員7名が参加。〔～11・23〕

2026

令和8年

3月31日
3月31日
3月13日

2月14日
1月22日
1月17日

12月26日
12月6日

第27回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が茨城県つくばみらい市で開催され、川場村産「ゆうだい21」が国際総合部門で金賞を受賞。
川場村として通算17回目の同部門金賞受賞となった。〔12・7〕
こども里山自然学校・川場まるごと滞在記（冬の教室）を開催し、ことも19名（うち村民2名・区民17名）、まるごと25名（区民）が参加。
〔12・28〕

こんにやく講習会を世田谷区桜丘区民センターで開催。
川場学園と千歳台小学校5年生とのスキー交流を川場スキー場で実施。
ふじやま冬の竹灯籠まつりが開催され、里山自然学校サポーター5名が参加。
世田谷区民展に、川場村在住・在勤の5名が作品を出展。〔13・22〕
川場村木質バイオマス発電購入者へのお礼の品として、かわたんグッズを希望者16名に送付。
後山の森林整備として約300を整備。

健康村新聞

100号記念保存版



区民健康村ってなあに？

世田谷区民の第二のふるさと、区民健康村

世田谷区と川場村は、都市と農村との交流を通して、自然とのふれあいや人との出会いを大切にしながら、相互の住民と行政が一体となって「地域づくり」を進めていこうという趣旨で、昭和56年に「区民健康村相互協力に関する協定（緑網協定）」を締結しました。

区民健康村とは、川場村を通じて都会で望めなくなった豊かな自然の恵みを感じながら、地元の方々と相互に協力して都市と山村の交流を深めていくことを目的とした「第二のふるさと」なのです。

川場村の魅力

家々や田畑があるのは、標高700mぐらいいで、そこから上は森が広がり、野生動物が主役の世界です。豊かな森は生き物に恵まれています。カモシカやワカロウも健康村に時々遊びにやってきます。

冬には山々に雪が降り、春には一面に花が咲き誇ります。夏から秋には様々な野菜やお米が収穫期を迎え、忙しなくぎやかな村となります。一日の温度差

が大きく、季節ごとの変化もはっきりとしているため、その味は格別です。

村内の表はすべて天からの恵み。あちこちの水場では清らかな湧き水が、川にはイワナやヤマメが産み、田んぼにはホタルが飛び交うこの環境は、なくてはならない大切なものとして、これから後世代にも渡って守られていきます。

健康村で過ごす、素敵な休日

澄んだ空気、清らかな流れ、豊かな緑に囲まれた自然の中で、ゆったりとした時を過ごしたり、地元村民との交流を深めるなどの活動拠点として、「ふじやまビレッジ」「なかのビレッジ」がご利用いただけます。宿泊はもちろん、日帰りでもご利用も可能です。ご家族やお友達同士で、ハイキング、バーベキュー、テニス、野球、サッカー、釣り、スキーなど、四季折々の自然の中で、健康的な時間を過ごしてください。

健康村新聞 100号記念保存版（H25.8.15 発行）

昭和63年に創刊の健康村新聞

現在も年1〜2回程度の発行を行っており

区・村各所で配架 ※R8.3時点の最新号は119号



世田谷区と川場村における健康村相互協力に関する覚書き

世田谷区と川場村は、世田谷区が、豊かな自然に恵まれた川場村において、健康村づくり事業を推進するにあたり、双方が主体性をもち、相互の理解と信頼のうえにたって、世田谷区民健康村と川場村の、みのりある将来を実現することを願い、次のことを協力することを約します。

記

1 健康村が単に区民の保養の場としてだけでなく、区民と村民の交流をたかめるための施設の相互利用、共同事業の推進と協議連絡組織の設置をはかります。

2 健康村づくりにとれない必要とされる用地・権利関係などの次の諸条件の調整について相互に協力し推進します。

(1) 用地の確保

(2) 権利関係の調整 — 水源確保、温泉分湯、流水利用、下水処理等。

(3) 行政手続き — 国土利用計画法、県大規模開発条例、道路・水路等の新設・廃止、農用地解除、農地転用、広域ゴミ処理場の利用等。

3 土地利用、郷土建築、開発行為などに当たって、村の環境の保全・育成をはかるため次の事項について相互に遵守いたします。

(1) 無秩序な開発防止と土地利用計画等による規制。

(2) 環境の変革につながるような公共事業についての協議の義務化。

(3) 景観にふさわしい郷土建築づくり。

(4) 環境の保全・育成運動の共同推進。

4 健康村で消費する原材料として、地場産物の需給について相互協力をはかります。

5 健康村の運営・管理に必要な人材の確保、労働力の需給体制について相互協力をはかります。

6 健康村構想の住民への周知、交流活動の実践について相互に協力し推進します。

昭和五十六年十二月一日

区民健康村十周年記念“友好の森”事業に関する相互協力

世田谷区と川場村は、昭和五十六年十一月十六日に「区民健康村相互協力協定」を結んで以来、積極的に地域間交流を推進してきました。

そして、この取り組みと成果は各方面から注目され、全国の先進事例として高く評価を受けており、これまでの世田谷区と川場村の十年間の交流事業は、関係者の尽力によって満足できる成果をえたと確信しております。

そこで、世田谷区と川場村は、十年間の区民健康村事業の成果を記念し、新しい事業展開の礎を築くために、相互に協力し、川場村に“友好の森”を建設することとします。

今日、地球的な規模の環境保全、育成の重要性が強く指摘されていますが、この“友好の森”事業は、区民健康村事業を支える川場村の環境を、都市と山村の交流事業の一環として保全育成し、自分たちの身近なところにある森林を自分たちで守り・育てることをとおして、環境問題の新しい取り組みのあり方を追求することを目的とするものであります。

世田谷区と川場村は、事業の実施にあたって、この協定の主旨を遵守し、相互に協力しあうことを誓います。

平成四年一月三十日

災害時における相互援助協定書

世田谷区（以下「甲」という。）と川場村（以下「乙」という。）とは区民健康村相互協力協定の精神に基づき、災害時における応急対策及び復旧対策（以下「応急対策等」という。）に係る相互の援助に関し、次のとおり協定する。

（目的）

第一条 この協定は、甲又は乙のいずれかの地域で災害が発生した場合において、被災地独自では十分な応急対策等が実施できない場合に、相互に援助協力することにより、被災地域の応急対策等を円滑かつ迅速に実施することを目的とする。

（要請）

第二条 甲及び乙は、応急対策等に必要な物資、機材（以下「応急物資」という。）及び職員等について自ら十分な調達ができないときは、連絡担当課を通じて、相手方に対し、必要事項を示して援助を要請するものとする。

（協力）

第三条 甲及び乙は、前条の規定により要請を受けた場合は、その内容に従って可能な限り応急物資を供給し、応援職員等を派遣するものとする。

（援助内容）

第四条 前条の規定により、甲又は乙が供給する援助内容は、次に掲げるものとする。

（一）食糧品

（二）生活必需品

（三）被災者の収容のための施設

（四）その他応急対策用資機材及び応援職員等

（応急物資等の輸送）

第五条 応急物資及び応援職員等の輸送は、援助する側が行うものとする。ただし、双方協議により相手方に依頼し又は分担することができる。

（連絡担当課）

第六条 相互援助のための連絡担当課（甲においては企画部区民健康村室、乙においては企画課）は、年一回の連絡会議を開くこととし、災害が発生したときは、速やかに情報交換を行うものとする。

（ボランティアへの支援）

第七条 甲及び乙は、区民健康村相互協力協定の趣旨に鑑み、個人又は団体から援助の申し出があった場合は、その内容を把握整理し、適切な支援が図れるよう努めるものとする。

（啓発事業への協力）

第八条 甲及び乙は、それぞれが実施する防災啓発事業に積極的に協力するものとする。

（経費の負担）

第九条 供給援助に要した経費（輸送費を含む。）の負担は、双方協議にうえ定めるものとする。

（協議）

第十条 この協定の解釈について疑義が生じた場合又はこの協定に定めのない事項については、双方協議のうえ決定するものとする。

（適用）

第十一条 この協定は、平成七年七月二十九日から施行する。

この協定を証するため、本書二通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各一通保有する。

平成七年七月二十九日

縁組協定再確認書 ～締結30周年を迎えて～

昭和56年11月に世田谷区と川場村で「区民健康村相互協力に関する協定」を締結して、今年で30周年を迎えた。この間、世田谷区民にとって川場村は「第二のふるさと」として定着し、ふじやま・なかの両ビレッジを拠点として、小学校5年生の移動教室や里山自然学校など、さまざまな活動を通じての交流が行われている。川場村は「田園理想郷」を目指して、里山や田園風景を生かした地域づくりを進めており、「農業プラス観光」の施策を展開している。

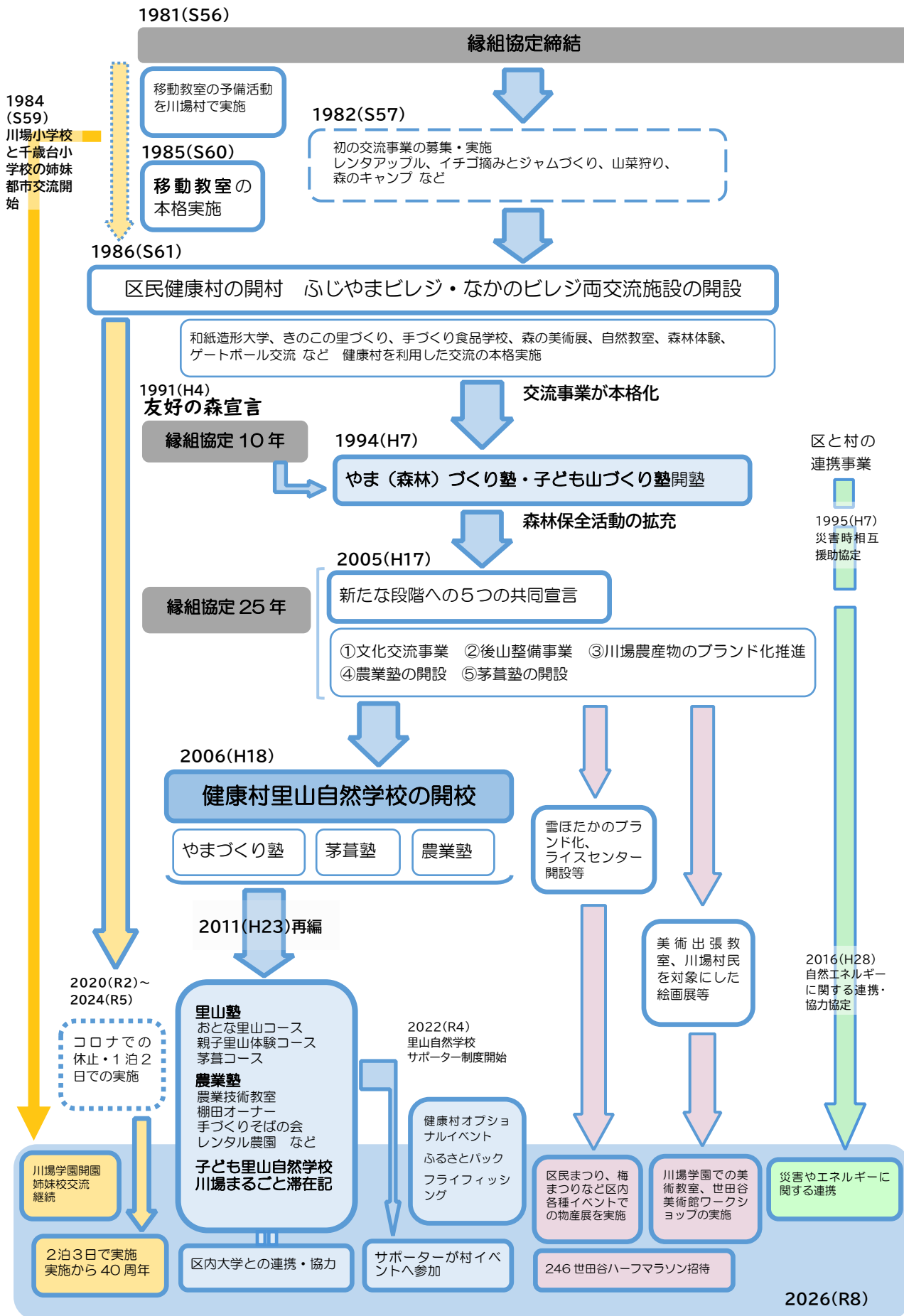
本年3月11日に発生した東日本大震災は、一千年に一度とも言われるほど甚大で、未曾有の被害をもたらし、多くのものを失った。改めて、震災への備えの重要性、地域や人々の絆の大切さを深く認識させられた。

縁組協定30周年を迎え、世田谷区と川場村は、縁組協定を通じて先人たちが築いてきた30年間の交流の実績と、その交流を支えてくれた多くの方たちに感謝し、これからも住民同士、自治体同士の交流を絶やすことなく、縁組協定の理念を後世に継承しつつ、以下の事項を推進し、今後も末永い友好関係と未来に誇れる交流を続けていくことをここに再確認する。

1. 私たちは、東日本大震災を経験したことで、それを教訓に、自治体間の相互協力体制のより一層の強化を図っていきます。
2. 文化交流においては、今まで取組んできた写真や絵画展などの交流を継続しつつ、新たに、私たちが生きていくうえでの基本となる「食」を題材とした交流をはじめ、世田谷区と川場村それぞれの特長を生かした、新たな文化交流の発展、拡大に取り組みます。
3. 川場村の自然環境を守り、育てるために、区民・村民を中心として交流活動を展開し、森林や草地の整備をはじめとした環境保護活動に取り組んでいます。さらに、森林整備で得た川場村産の優良な木材を積極的に活用していきます。
4. 環境に配慮した、安全でクリーンな新エネルギーを川場村及び世田谷区が創出する努力をします。

平成23年10月吉日

【相互交流と里山自然学校の変遷】



区民健康村のあゆみ 世田谷区・川場村

制 作 世田谷区生活文化政策部区民健康村・ふるさと・交流推進課

川場村むらづくり振興課

株式会社世田谷川場ふるさと公社

発行日 令和8年7月26日（縁組協定45周年記念 第45回川場まつり開催日）

発 行 世田谷区生活文化政策部区民健康村・ふるさと・交流推進課

